

村上明美（大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 村上明美, 細尾萌子, 小田初美, 福島和美, 倉本孝子, 2024年06月, 日本語, 看護・助産師教育に活かすパフォーマンス評価ワークブック 導入のためのはじめの一步, 第2部: 事例編 2. 助産師教育におけるパフォーマンス評価の実践事例, 創元社, 43-51
- 2) 共著, 村上明美・福井トシ子・井本寛子, 2025年01月, 日本語, 新版 助産師業務要覧第4版 2025年版, 第2章: 助産師の教育 4. 助産師の能力, 日本看護協会出版会, 52-62

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, 音村有美, 村上明美, 浅見恵梨子, 島谷康司, 島圭介, 藤井宏子, 2024年1月, 日本語, 助産師の児頭後頭結節滑脱の判断, 査読あり, 日本助産学会誌, <https://doi.org/10.3418/jjam.JJAM-2024-0027>, 早期公開 (11月12日)
- 2) その他 (報告等), 責任著者, 谷口千絵, 渡邊浩子, 渡邊典子, 和泉美枝, 宮川幸代, 眞鍋えみ子, 江藤宏美, 高田昌代, 北村聖, 村上明美, 2024年04月, 日本語, 助産師教育における実習生の質保証のための助産学共用試験に対する教員の認識, 査読あり, 日本助産学会誌, 2024 Vol. 38, 145-154, <https://doi.org/10.3418/jjam.JJAM-2023-0042>
- 3) 原著論文, 責任著者, Hiroko. FUJII, Noriko WATANABE, Eriko ASAMI, Akemi MURAKAMI, 2024年12月, 英語, Descriptive study on sustainable labor and delivery education: Learning from practices amid COVID-19 pandemic and major disasters., 査読あり, Journal of Japan Academy of Midwifery, 2024 Vol. 38, 318-329, <https://doi.org/10.3418/jjam.JJAM-2024-0003>

3. その他の著作

- 1) 村上明美, 渡邊千登世, 宮芝智子, 2024年07月, 「看護師の新たな働き方モデル」開発の実際と教育プログラムの概要, 看護管理, 34巻7号 Page550-554

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 宮芝智子, 村上明美, 渡邊千登世, 横山郁子, 和田由樹, 「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の開発その1—導入1年目のプロセス評価—, 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本母性衛生学会, 査読委員, 2007. 7～
- 2) 神奈川母性衛生学会, 理事, 2009. 4～

- 3) 産科医療補償制度分析委員会, 部会員, 2009. 4～
- 4) 一般社団法人日本看護科学学会, 評議員, 2019. 4～
- 5) 一般社団法人日本助産学会, 理事, 2024. 4～
- 6) 助産実践能力推進協議会, 委員, 219. 6～
- 7) 公益財団法人かながわ国際交流財団, 理事, 2023. 5～
- 8) 公益社団法人日本母性衛生学会, 理事, 2023. 6～
- 9) 公益社団法人全国助産師教育協議会, 助産師教育研修研究センター長, 2023. 6～
- 10) 一般財団法人日本看護学教育評価機構, 評価員, 2024. 4～2025. 3
- 11) 一般社団法人日本助産学会, 理事, 2024. 6～
- 12) 独立行政法人日本学生支援機構, 運営評議会委員, 2024. 10～
- 13) 茨城県立医療大学, 大学運営協議会委員, 2025. 2～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 学長教育講演, 2024. 8. 3～4
- 2) 公益社団法人全国助産師教育協議会セカンドステージ研修助産師教育課程Ⅱ コメンテーター, 2025. 2. 16～27
- 3) 公益社団法人全国助産師教育協議会助産政策論オンラインセミナー 話題提供者, 2025. 3. 9

7. 講演, 放送

- 1) 神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス公開講座 ヒューマンサービスの理解と本学の人材養成, 2024. 5. 25
- 2) 公益社団法人全国助産師教育協議会総会 教育講演 助産学共用試験のこれまでの取り組みの経緯と今後の方向性, 2024. 6. 16
- 3) 公益社団法人日本母性衛生学会 第65回学術集会 教育講演 助産学共用試験の推進一助産学OSCEを中心に, 2024. 10. 18

8. 学会等での活動

- 1) 一般社団法人日本看護学教育学会第34回学術集会共催セミナー4 座長, 2024. 8. 19

9. 学内教育活動

- 1) 保健福祉学部
ヒューマンサービス論Ⅰの視覚教材作成, 2024. 4
- 2) 実践教育センター
ヒューマンサービス論の視覚教材作成, 2024. 4
- 3) ヘルスイノベーション研究科修士課程

ME-BYO and Human Services の視覚教材作成, 2024. 10

4) 保健福祉学研究科博士前期課程

助産学特論 I の視覚教材作成, 2024. 10～12

10. 学内各種委員会活動

- 1) 役員会, 2023. 4. ～
- 2) 経営審議会, 2023. 4. ～
- 3) 教育研究審議会, 2018. 4～
- 4) 全学入試委員会, 2018. 4～
- 5) 自己評価専門部会, 2018. 4～
- 6) 内部質保証推進部会, 2018. 4～
- 7) 自己評価・内部質保証審査会, 2021. 4～

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (B) , 代表者, 村上明美, 渡邊浩子, 渡邊典子, 谷口千絵, 眞鍋えみ子, 和泉美枝, 宮川幸代, 江藤宏美, 高田昌代, 助産師教育における実習生の質保証のための助産学共用試験の実用化と認証システム開発, 6, 760千円, 2024年04月, 2028年03月
- 2) 基盤研究 (C) , 分担者, 藤井宏子, 村上明美, 浅見恵梨子, 島圭介, 島谷康司, 助産師の会陰保護技術の知に関する研究: VRシステムによる暗黙知から形式知への変換, 4, 160千円, 2022年04月, 2025年03月
- 3) 基盤研究 (C) , 分担者, 渡邊千登世, 宮芝智子, 村上明美, 「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の導入と評価, 3, 370千円, 2024年04月, 2027年03月

間瀬 由記（大学院保健福祉学研究科兼務）

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 共著者, 廣田雅美, 白水眞理子, 間瀬由記, 2024年07月, 日本語, 高齢慢性腎臓病患者の腎代替療法の意思決定における支援システムと看護師による支援の現状, 査読あり, 日本慢性看護学会誌, 18, 65-74, <https://doi.org/10.34523/jscicn.202418005>
- 2) その他（報告等）, 筆頭著者・責任著者, 間瀬由記, 黒河内仙奈, 2025年03月, 日本語, 回復期リハビリテーション病院の実習指導者における看護学生の目標志向型思考を育む教育的支援, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 22(1), 29-40, <https://kuhs.repo.nii.ac.jp/records/2000147>
- 3) その他（報告等）, 責任著者, 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 2025年03月, 日本語, 高齢者看護学におけるジグソー学習法を用いた看護技術演習の実践報告, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 22(1), 41-52, <https://kuhs.repo.nii.ac.jp/records/2000148>

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 黒河内仙奈, 星美鈴, 間瀬由記, 地域在住高齢者参加型演習における看護学生のコミュニケーションへの気づきと課題, 日本看護学教育学会誌 第34回学術集会プログラム・講演集, 2024年08月
- 2) ポスター, 責任者, 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 高齢者看護学におけるジグソー法を用いた看護師との共同による看護技術演習に対する学生の評価, 日本看護学教育学会誌 第34回学術集会プログラム・講演集, 2024年08月
- 3) ポスター, 共同研究者, 安藤里恵, 白水眞理子, 間瀬由記, 奥井良子, 中原慎二, 成人期にある2型糖尿病をもつ就労者が受診中断を思いとどまった経験, 日本糖尿病教育・看護学会誌, 2024年09月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県看護協会, 看護研究推進支援事業指導講師, 2009. 6～
- 2) 日本慢性看護学会編集委員会, 専任査読委員, 2022. 4. 1～
- 3) 日本糖尿病教育・看護学会編集委員会, 専任査読者, 2022. 4. 1～
- 4) 日本看護学教育学会誌, 専任査読委員, 2024. 4. 1～
- 5) 日本看護学教育学会, 評議員（倫理委員会・研究倫理審査専門部会）, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) 神奈川県立循環器呼吸器病センターの臨床看護研究指導, 2024. 4. 1～2025. 3. 31.
- 2) 神奈川県がん放射線療法認定看護師会の相談役, 2024. 4. 1～2025. 3. 31.

- 3) 鎌倉療育医療センター小さき花の園の臨床看護研究の指導, 2024. 4～2024. 6.
- 4) 神奈川県立二俣川看護福祉高等学校の模擬授業, 2024. 5. 31.
- 5) 横須賀共済病院の臨床看護研究指導, 2024. 6～2025. 3.
- 6) オープンキャンパスの個別相談, 2024. 8. 4.
- 7) 学生向けアロママッサージ研修の開催, ①2024. 9. 27. , ②2025. 2. 26.
- 8) うみかぜサロン（県立大学認知症サロン）の開催, 2025. 3. 22.

8. 学会等での活動

- 1) ヒューマンサービス学会第2回学術集会の企画委員長, 2024. 1～2024. 12.
- 2) 交流セッション 学部学生に学習の関連性や積み上げの意識化を促す老年看護学教育の展開の検討. 日本看護学教育学会誌 第34回学術集会プログラム・講演集, 2024. 9. 2～ 2024. 10. 14.

9. 学内教育活動

1) 学部

- 問題に基づく学習法（PBL）による脳血管疾患患者の看護の展開, 2024. 10.
- ジグソー法を用いた看護技術演習の展開, 2024. 11.
- 弓道サークルの顧問, 2024. 4～2025. 3.
- アカデミック・ライティング補講の企画・実施・学生アンケートのまとめ, ①2024. 9. 27. , ②2025. 3. 4. , ③2025. 3. 7.

2) 博士前期課程

- 複合的症状を示す心不全の事例の教材作成, 2024. 6. 19.

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員, 2024. 4. 1～2025. 3. 31.
- 2) 学部教授会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31.
- 3) 看護学科教授会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31.
- 4) 看護学科教務委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31.
- 5) 看護学科教員会議, 2024. 4. 1～2025. 3. 31.
- 6) JABNE看護学教育評価ワーキング（入試担当）, 2024. 4. 1～2025. 3. 31.

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（C）, 分担者, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 島津尚子, 小河原格也, 末田千恵, 脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発, 4, 160千円, 2020年04月, 2025年03月
- 2) 基盤研究（C）, 分担者, 安藤里恵, 奥井良子, 中原慎二, 白水眞理子, 間瀬由記, 成人期に

ある2型糖尿病患者のための受診中断予防看護モデルと療養支援ツールの開発, 4, 000千円,
2023年04月, 2026年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究), 分担者, 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 大学における認知症カフェの試行と学生が参加することによる学習効果, 211千円, 2024年04月, 2025年03月

15. その他

- 1) 東京情報大学 非常勤講師, エンドオブライフケア論 (選択科目1単位, 6コマ)

榑 恵子 （大学院保健福祉学研究科兼務）

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 細谷陽、吉田光爾、田中有紀、水野高昌、大河内敦子、栄セツコ、森本淳子、榑恵子, COVID-19感染拡大下で地域生活を送る精神障害者に対する専門職支援の特徴と地域連携支援の実態, 日本精神障害リハビリテーション学会第31回大会, 2024月12月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本精神保健看護学会誌, 編集委員 (副委員長), 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) 日本家族看護学会, 第31回企画実行委員, 2024. 4. 1～9. 11
- 3) 横須賀市民病院運営委員会, 委員, 2024. 6. 1～2025. 3. 31

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 学科紹介, 2024. 8. 3～8. 4 2025. 3. 25
- 2) 厚木看護専門学校 学校関係者評価会議委員, 2024. 5. 22
- 3) 精神看護学教員オンラインサポートグループ, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

7. 講演, 放送

- 1) 神奈川県立金井高等学校県立保健福祉大学金率高校生学習活動コンソーシアム, 2024. 7. 16

8. 学会等での活動

- 1) 第31回日本家族看護学会学術集会 座長, 2024. 9. 11

10. 学内各種委員会活動

- 1) 総務・企画委員会他, 2024. 4～2025. 3

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C), 榑 恵子, 水野 高昌, 栄 セツコ, 吉田 光爾, 大河内 敦子, 細谷 陽, 森本 淳子, COVID-19感染拡大下での精神障害者のための地域多職種連携支援モデルの開発, 3, 250千円, 2022年05月, 2026年03月

川名 るり (大学院保健福祉学研究科兼務)

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, 杉山いずみ, 川名るり, 笹田哲, 2024年06月, 日本語, 重症心身障害者の集団活動支援に対する生活支援員と看護師の意識と支援の変化—アクションリサーチを通して—, 査読あり, 作業療法, 2024 Vol. 43 No. 3, 361-368, 10. 32178/jotr. 43. 3_361

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 鈴木翼, 谷口千絵, 川名るり, 高度実践看護師の実践範囲の拡大に伴う臨床的スキル獲得の教育プログラムに関する文献検討, 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本赤十字看護学会, 査読委員, 2010. 2. ～
- 2) 一般社団法人日本小児看護学会, 査読委員, 2010. 4. ～
- 3) 公益財団法人日本小児保健協会, 査読委員, 2015. 4. ～
- 4) 国際ケアリング学会, 評議員, 2016. 6. ～
- 5) 公益社団法人日本看護科学学会, 査読委員, 2019. 10. ～
- 6) 一般社団法人日本小児看護学会, 評議員, 2021. 7. ～
- 7) 一般社団法人日本看護系大学協議会, 高度実践看護師教育課程認定委員会 小児看護専門分科会委員, 2022. 7. ～
- 8) 公益社団法人日本看護科学学会, 代議員, 2023. 2. ～
- 9) ヒューマンサービス学会, 学会誌編集委員会 委員兼事務局, 2023. 6. ～
- 10) 一般社団法人日本小児看護学会, 教育委員会 委員, 2023. 7. ～
- 11) 一般社団法人日本小児看護学会, 広報委員会 委員, 2023. 7. ～
- 12) 公益社団法人日本看護科学学会, 優秀賞奨励賞候補論文 審査委員, 2023. 8. ～
- 13) 一般財団法人日本看護学教育学会, 評議員, 2024. 6～
- 14) 公益社団法人日本看護科学学会, 第43回学術集会 一般演題査読者, 2024. 6～
- 15) 一般財団法人日本看護学教育学会, 査読委員, 2024. 10～
- 16) 公益社団法人日本重症心身障害福祉協会, 重症心身障害看護師 認定審査委員, 2025. 1～
- 17) 一般社団法人日本小児看護学会, 第35回学術集会 一般演題査読者, 2025. 3～

6. 社会貢献

- 1) 済生会横浜市東部病院人材開発センター 認定看護師教育課程 (小児プライマリケア分野) 入試選考面接官, 2024. 4～

- 2) 神奈川県立保健福祉大学大学院 大学院説明会, 2024. 6. 8
- 3) 神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパス 個別相談, 2023. 8. 3
- 4) 神奈川県立こども医療センター 第12回エキスパートナースコース研究支援①, 2024. 10. 10
- 5) 神奈川県立こども医療センター 第11回エキスパートナースコース研究支援「中間発表会」, 2024. 11. 21
- 6) 神奈川県立こども医療センター エキスパートナースコース運営委員 研究支援①, 2024. 11. 25
- 7) 神奈川県立こども医療センター 第12回エキスパートナースコース研究支援②, 2025. 2. 3
- 8) 神奈川県立こども医療センター エキスパートナースコース運営委員 研究支援②, 2025. 2. 13

7. 講演, 放送

- 1) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学(’22), 第3回「幼児期の子どもと家族」担当講師, テレビ・インターネット配信. , 2024. 4～, テレビ放送は学期毎に放送／再放送あり。インターネット配信は受講生随時あり。
- 2) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学(’22), 第4回「学童期・思春期の子どもと家族」担当講師, テレビ・インターネット配信. , 2024. 4～, テレビ放送は学期毎に放送／再放送あり。インターネット配信は受講生随時あり。
- 3) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学(’22), 第8回「先天性疾患のある子どもと家族」担当講師, テレビ・インターネット配信. , 2024. 4～, テレビ放送は学期毎に放送／再放送あり。インターネット配信は受講生随時あり。
- 4) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学(’22), 第9回「手術を受ける子どもと家族」担当講師, テレビ・インターネット配信. , 2024. 4～, テレビ放送は学期毎に放送／再放送あり。インターネット配信は受講生随時あり。
- 5) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学(’22), 第10回「慢性期にある子どもと家族／外来における看護」担当講師, テレビ・インターネット配信. , 2024. 4～, テレビ放送は学期毎に放送／再放送あり。インターネット配信は受講生随時あり。
- 6) 神奈川県立こども医療センター, 小児看護エキスパートナースコース「研究に関する知識①」講師, 2024. 8. 5
- 7) 日本運動器看護学会認定運動器看護師育成講座, 「成長発達と運動機能障害に合わせた看護」講師, 2024. 10. 16～11. 13
- 8) 神奈川県立こども医療センター, 小児看護エキスパートナースコース「研究に関する知識②」講師, 2024. 10. 10
- 9) 神奈川県立こども医療センター, 看護集談会「研究発表」講師, 2024. 11. 17
- 10) 横須賀エフエム放送, 「少子化でも活躍できる助産師／子どもを看る看護師の育成」出演, 2025. 1. 13

8. 学会等での活動

- 1) 第34回日本小児看護学会学術集会 座長, 2024. 7. 6
- 2) 第34回日本小児看護学会学術集会 テーマセッション企画運営・司会, 2024. 7. 7
- 3) 第25回日本赤十字看護学会学術集会 シンポジスト「査読者の視点から見た学会誌」, 2024. 7. 20

9. 学内教育活動

1) 学部

小児看護学教育に関する視聴覚教材作成, 講義, 演習, 実習指導 (小児看護学Ⅰ・Ⅱ, 統合実習, 卒業研究, 臨床看護応用演習), 2024. 4～, () 内は科目名

2) 博士前期課程

小児看護専門看護師教育にかかわる視聴覚教材作成, 講義, 演習, 実習指導 (小児看護学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ, 小児看護学演習Ⅰ, 小児看護学実習Ⅰ, 病態生理学, フィジカルアセスメント), 2024. 4～, () 内は科目名

主指導教員として修士論文の研究指導, 2024. 4～

質的研究法に関する視聴覚教材作成, 講義, 演習 (研究法Ⅱ), 2024. 10～, () 内は科目名

主査として修士論文審査, 2025. 1

3) 博士後期課程

指導補助教員として博士論文の研究指導, 2024. 4～

4) 実践教育センター

感染管理認定看護師教育課程 共通科目 (教育指導) の視聴覚教材作成, 講師, 2024. 5. 17, 6. 7

教員・教育担当者養成課程看護コース 看護教育課程論 (小児看護学) の視聴覚教材作成, 講師, 2024. 6. 13

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学科教授会, 2020. 4～
- 2) 看護領域研究科委員会, 2020. 4～
- 3) 学部教授会, 2020. 4～
- 4) 研究科委員会, 2020. 4～
- 5) 看護学科教務委員会, 委員長, 2023. 4～
- 6) 全学教務委員会, 副委員長, 2023. 4～

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 代表者, 川名るり, 有元典文, 多様化した小児医療現場での技能転移促進に向けた学習デザインモデルの構築, 4, 417千円, 2021年04月, 2026年03月
- 2) 基盤研究 (C) , 分担者, 谷口千絵, 川名るり, 鈴木翼, 助産師と小児専門看護師の実践能力の共有－母子の看護の向上をめざした専門性の拡充, 1, 400千円, 2022年04月, 2026年03月

15. その他

- 1) 日本赤十字看護大学大学院非常勤講師, 「博士後期課程特別研究 (小児看護学)」 研究指導
- 2) 一般財団法人 放送大学教育振興会, 小児看護学(' 22), 第1学期単位認定試験問題作成
- 3) 一般財団法人 放送大学教育振興会, 小児看護学(' 22), 第2学期単位認定試験問題作成
- 4) 一般財団法人 放送大学教育振興会, 小児看護学(' 22), 自習型問題. 試験問題作成
- 5) 一般財団法人 放送大学教育振興会, 小児看護学(' 22), 提出型問題. 試験問題作成
- 6) 日本運動器看護学会認定運動器看護師, 認定資格試験問題作成

高橋奈津子

1. 著書

- 1) 共著, 高橋奈津子, 2025年01月, 日本語, 看護学テキストNiCE がん看護改訂第2版, 第Ⅲ章-3 がんサバイバーシップとソーシャルサポート, 南江堂, 117-121
- 2) 共著, 高橋奈津子, 2025年03月, 日本語, 病気・病態・重症度から見た疾患別看護過程+病態関連図 第5版, 第6章 白血病, 医学書院, 748-762

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, Naoko HAYASHI, Natsuko Takahashi, Megumi OKAWA, Yukie HOSODA, Misato OSAKA, Decision Aid, Algorithms, and a Handbook for Decision-Making Support on Fertility Preservation for Women with Breast Cancer Undergoing Treatment, 12th International Shared Decision Making Conference, 2024年07月
- 2) 口頭, 共同研究者, 瀬戸山陽子、佐藤幹代、射場典子、原田雅義、森田夏実、戸沢智也、水野光、高橋奈津子、山岡栄里、吉田恵理子、横井郁子、中村千賀子、臨地実習における合理的配慮～障害のある看護学生/看護職の語りから、教育の本質を考える～, 日本看護学教育学会第34回学術集会, 2024年08月
- 3) 口頭, 筆頭者・責任者, 高橋奈津子, 佐藤幹代, 安藤里恵, 米田昭子, 中山直子, 射場典子, 糖尿病患者のアドボカシー -糖尿病の呼称変更でスティグマは払拭できるのか-, 第18回日本慢性看護学会学術大会, 2024年08月
- 4) ポスター, 筆頭者, Natsuko Takahashi, Naoko HAYASHI, Megumi OKAWA, Yukie HOSODA, Misato OSAKA, Feasibility Study of a Decision Support Program for Patients with Breast Cancer Choosing Fertility Preservation Therapy, 8th World Congress of the International Society for Fertility Preservation, 2024年11月
- 5) 口頭, 共同研究者, 林直子, 宮下光令, 佐藤まゆみ, 麻生咲子, 沖村愛子, 小笠美春, 入澤裕子, 第2回 今こそ集まれ! がん看護の仲間たちー臨床実践者と研究者のためのジョイントミーティングー, 第39回日本がん看護学会学術集会, 2025年02月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護学会 慢性期看護, 査読委員, 2017. 4. 1～
- 2) 日本保健医療社会学会, 査読委員, 2019. 4. 1～
- 3) 日本慢性看護学会, 査読委員, 2024. 4. 1～
- 4) 聖路加看護学会, 理事, 2024. 4. 1～
- 5) 聖路加看護学会, 編集委員長, 2024. 4. 1～
- 6) 聖路加看護学会, 研究助成基金選考委員, 2022. 11～
- 7) 日本がん看護学会, 学術委員, 2023. 3～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 個別相談担当, 2024. 8. 4
- 2) 2024年度ヒューマンサービス公開講座（秋期）, メインテーマ 「暮らしの一步先を学ぶ」
 , 講演テーマ 「改めて生活習慣病を考える, 2024. 10. 12

9. 学内教育活動

1) 学部

- 成人看護学（慢性期）Ⅰ, 2024, 11～2025. 1
- 成人看護学（慢性期）Ⅱ, 2024, 4～2024. 7
- 成人看護学（慢性期）実習, 2024. 9～2024. 12
- 卒業研究, 2024. 4～2025. 1
- 統合実習, 2024. 5～2024. 6

2) 大学院

- 博士前期課程 指導補助教員（主査・副査）, 2024. 4～2025. 2

3) 実践教育センター

- 看護教育課程論（成人看護学）, 2024. 5. 16

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員会, 2022. 4. 1～
- 2) 看護学科学生委員会委員長, 2023. 4. 1～
- 3) 看護学科教授会, 2023. 4. 1～
- 4) 看護領域研究科委員会, 2022. 4. 1～
- 5) 学部教授会, 2022. 4. 1～
- 6) 研究科教授会, 1. 2022. 4. 1～
- 7) 学部学生委員会, 2023. 4. 1～

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（C）, 代表者, 高橋奈津子, 中山直子, 佐藤幹代, 米田昭子, 看護基礎教育における糖尿病の語りをいかしたセルフマネジメント支援教材の開発, 4, 420千円, 2019年04月, 2025年03月
- 2) 挑戦的研究（開拓）, 分担者, 林直子, 高橋奈津子, 鈴木久美, 内藤立暁, がん薬物療法を受ける患者の包括的がん悪液質アセスメントツールの開発と実装, 22, 230千円, 2021年07月, 2027年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 学科研究費, 分担者, 瀬谷絵莉佳, 佐々木杏子, 高橋佐和子, 森朱輝, 高橋奈津子, 中山直子, 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科卒業生の動向調査, 200千円, 2024年4月1月, 2025年03月

谷口 千絵 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 筆頭著者, 谷口 千絵, 渡邊 浩子, 渡邊 典子, 和泉 美枝, 宮川 幸代, 眞鍋 えみ子, 江藤 宏美, 高田 昌代, 北村 聖, 村上 明美, 2024年04月, 日本語, 助産師教育における実習生の質保証のための助産学共用試験に対する教員の認識, 査読あり, 日本助産学会, 2024 Vol. 38, 145-154, 10. 3418/jjam. JJAM-2023-0042

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, 谷口千絵, 五十嵐稔子, COVID-19感染拡大下における周産期のケア, 第55回日本看護学会学術集会, 2024年09月
- 2) 口頭, 責任者, 五十嵐稔子, 大瀬戸貴己, 谷口千絵, COVID-20感染拡大下で実施された看護/助産ケアとその効果, 第56回日本看護学会学術集会, 2024年09月
- 3) ポスター, 責任者, 鈴木翼, 谷口千絵, 川名るり, 高度実践看護師の実践範囲の拡大に伴う臨床的スキル獲得の教育プログラムに関する文献検討, 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月
- 4) ポスター, 共同研究者, 吉田みつ子, 遠山義人, 谷口千絵, 喜多里己, 妊娠期にがんが診断された女性の出産前後の治療と育児に関する体験, 第45回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月
- 5) ポスター, 筆頭者・責任者, 谷口千絵, 五十嵐稔子, COVID-19感染拡大下における周産期の看護/助産ケアの実態調査ー地域の助産師の認識と対応および今後の備えー, 第46回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月
- 6) ポスター, 共同研究者, 藤井宏子, 宮川幸代, 浅見恵梨子, 谷口千絵, 松崎政代, 渡邊典子, 村上明美, 「助産技術習得のための教育プログラム」におけるルーブリックを用いた助産学生の習熟に関する検討 第1報: 分べん介助技術の評価, 第38回日本助産学会学術集会, 2024年10月
- 7) ポスター, 共同研究者, Yoshida. M., Toyama, Y., Kita, S., Taniguchi, C., Supprt Policy for Women Diagnosed with Cancer Pregnancy Before Giving Birth and Raising Children, 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2025年02月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本助産学会, 専任査読委員, 2007. 4～
- 2) 一般財団法人日本助産学会, 研修・教育委員, 2008. 4～
- 3) 日本保健科学学会, 評議員, 2008. 10～
- 4) 一般社団法人日本看護学教育評価機構, 評価員研修委員, 2019. 4. 1～
- 5) 一般社団法人日本助産学会, 代議員, 2020. 3. 31～

- 6) 日本赤十字看護学会, 編集委員, 2021. 9. 11～
- 7) 公益社団法人日本看護科学学会, 代議員, 2023. 2. 28～
- 8) 一般財団法人日本助産評価機構, 助産教育認証評価部評価委員, 2023. 4. 1
- 9) 公益社団法人全国助産師教育協議会, 理事, 2023. 6. 17～
- 10) 香川大学看護学雑誌, 査読委員, 2023. 8. 1～
- 11) 公益社団法人神奈川県助産師会, 理事, 2024. 6. 10～
- 12) 一般社団法人第38回日本助産学術集会, 監査, 2025. 3
- 13) 一般社団法人日本看護学教育学会第34回学術集会, 実行委員, 2024. 8. 19～20
- 14) 一般社団法人日本助産学会第15回社員総会, 議事録署名人, 2024. 6. 23
- 15) 公益社団法人第44回日本看護科学学術集会, 演題査読, 2024. 7. 13～26

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 相談担当, 2024. 8. 3
- 2) オーストラリアニューカッスル大学スタディツアー受入, 2024. 12. 3～5

7. 講演, 放送

- 1) FMブルー湘南 少子社会でも活躍できる助産師/こどもを看る看護師の育成, 2025. 1. 13
- 2) 第15回 (通算60回) 公益社団法人全国助産師教育協議会社員総会 助産師教育の発展を目指した取り組み, 2024. 6. 16
- 3) 東京かつしか母子医療センター「倫理研修会Ⅲ」講師, 2024. 10. 18
- 4) 東京かつしか母子医療センター「倫理研修会Ⅱ」講師, 2024. 11. 17

8. 学会等での活動

- 1) 第25回日本赤十字看護学会学術集会 交流集会, 2024. 7. 20, 査読者の視点から見た学会誌一査読体験の中から学ぶ—宗内桂, 田村由美, 吉田みつ子, 中川典子, 濱田真由美, 谷口千絵, 木村勇喜, 吉田和美, 小野芳子, 近末清美, 木下真吾
- 2) 第44回日本看護科学学会学術集会 一般演題座長, 2024. 12. 7

9. 学内教育活動

1) 学部

- リプロダクティブ・ヘルスケアⅠ, 2024. 10～2025. 1
- リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, 2024. 4～2024. 7
- リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 2024. 9～2024. 12
- 保健医療福祉論Ⅰ, 2024. 8. 5～7
- 問題に基づく学習法 (PBL) , 2024. 5. 9, 16, 23

統合実習, 2024. 5. 27～6. 14

卒業研究, 2024. 4～2025. 1

2) 博士前期課程

助産学概論, 2024. 4～6

助産診断技術特論Ⅲ, 2024. 10～2025. 1

助産基礎特論Ⅱ, 2024. 10～2025. 1

助産学特論演習Ⅰ, 2024. 4～2025. 1

助産実践実習, 2024. 6～2025. 1

10. 学内各種委員会活動

1) 人権・倫理委員会, 2024. 4～2025. 3

2) チューター, 2024. 4～2025. 3

3) 衛生委員会, 2024. 4～2025. 3

4) 学科教授会, 2024. 4～2025. 3

5) 看護領域研究科委員会, 2024. 4～2025. 3

6) 学科国際協働, 2024. 4～2025. 3

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 基盤研究 (C), 代表者, 谷口千絵, 川名るり, 鈴木翼, 助産師と小児専門看護師の実践能力の共有－母子の看護の向上をめざした専門性の拡充, 471千円, 2022. 4. 1, 2027. 3. 31

2) 基盤研究 (C), 分担者, 吉田みつ子, 遠山義人, 谷口千絵, 妊娠期がんと診断された女性と家族に対する支援プロセスの構造, 260千円, 2024. 10. 25, 2026. 3. 31

3) 基盤研究 (B), 分担者, 村上明美, 北村聖, 江藤宏美, 谷口千絵, 和泉美枝, 渡邊浩子, 宮川幸代, 眞鍋えみ子, 葉久真理, 高田昌代, 渡邊典子, 助産学共用試験による学生の助産実践能力の修得と共闘試験実用化に向けた体制の構築, 100千円, 2024. 4. 1, 2028. 3. 31

12. 学内研究助成金の受託

1) 学長推薦研究費, 分担者, 樋口良子, 鈴木志保子, 谷口千絵, 藤田峰子, 飯田綾香, 中西朋子, 学内実習ステーションを活用した「子育て世代の女性のための健康ラボ」によるセルフケア向上プログラムの開発, 500千円, 2024. 9. 13, 2026. 3. 31

臺 有桂（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 石田千絵, 臺有桂, 山下留理子編著, 2024年12月, 日本語, ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第8版, 序章：地域・在宅での暮らし1章3節：地域アセスメント2章1・3節：地域看護と在宅看護3章1節：在宅看護の基盤5章1・2節：訪問看護の特徴7章：地域療養を支える法・制度資料：地域・在宅看護を展開するための基本理念, メディカ出版, 15-20, 33-39, 48-49, 59-63, 138-152, 180-225, 265-267
- 2) 共著, 石田千絵, 臺有桂, 山下留理子編著, 2024年12月, 日本語, ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 第3版, 1章3節：訪問看護の記録3章2節：在宅におけるアセスメント技術3章3・5節：環境整備・感染予防6章1節：在宅看護における危機管理7章：事例で学ぶ在宅看護の技術8章：やってみよう！訪問看護演習, メディカ出版, 32-36, 82-90, 85-101, 240-243, 252-308

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 共著者, 岡本玲子, 岸恵美子, 松本珠美, 臺有桂, 他16名, 2024年04月, 日本語, 保健師の未来を拓くプロジェクト 2023年度報告（第1報） 2023年度経過と保健師のコアに関するデルファイ調査（中間報告）, 査読あり, 日本公衆衛生看護学雑誌, 13（1）, 54-57, 10. 15078/jjphn. 13. 1_54
- 2) その他（報告等）, 共著者, 岡本玲子, 岸恵美子, 松本珠美, 臺有桂, 他16名, 2024年04月, 日本語, 保健師の未来を拓くプロジェクト 2023年度報告（第2報） 保健師の定義と倫理に関する意見収集調査結果, 査読あり, 日本公衆衛生看護学雑誌, 13（1）, 58-61, 10. 15078/jjphn. 13. 1_58
- 3) 原著論文, 共著者, 岡本玲子, 岸恵美子, 松本珠美, 臺有桂, 他16名, 2024年12月, 日本語, 保健師のコアバリューとコアコンピテンシー デルファイ調査, 査読あり, 日本公衆衛生雑誌, 71巻12号, 745-755, 10. 11236/jph. 24-026

3. その他の著作

- 1) 臺有桂, 2024年05月, コンピテンシー・ベースの保健師教育への転換, 保健師教育 vol. 8 No. 1, p. 1, 巻頭言
- 2) 岡本玲子, 岸恵美子, 松本珠美, 臺有桂, 2024年08月, 力を合わせて明らかにした私たち保健師のコア, 保健師ジャーナル 80（4）, p. 299-305, 特別記事
- 3) 岸恵美子, 臺有桂, 2024年08月, 連載「みんなで活かそう！私たち保健師のコアバリューとコアコンピテンシー・1」 人権と自律, 保健師ジャーナル 80（4）, p. 327-329, 連載記事
- 4) 臺有桂, 2025年01月, コアバリュー・コアコンピテンシーの保健師基礎教育への活用, 公衆衛

生情報 vol. 54 No. 10, p. 8-9, 連載記事

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 石村珠美, 片平伸子, 臺有桂, 幼児期の子供を育てる母親の後ろ向きな反応に関する文献レビュー, 第31回日本家族看護学会学術集会, 2024年08月
- 2) ポスター, 共同研究者, 石村珠美, 片平伸子, 臺有桂, 幼児期の子どもを育てる母親のプロダクティビティ尺度の開発と信頼性・妥当性の検証, 第29回日本在宅ケア学会学術集会, 2024年08月, 優秀演題賞
- 3) ポスター, 筆頭者, 臺有桂, 岸恵美子, 小野治子, 他5名, 保健師教育課程から見た自治体保健師としての就業状況と就業意向(第2報)-保健師教育機関 学生調査結果から-, 第13回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2025年01月
- 4) ポスター, 共同研究者, 小野治子, 岸恵美子, 臺有桂, 他5名, 保健師教育課程からみた自治体保健師としての就業状況と就業意向-保健師教育機関 教員調査の結果から- (第1報), 第13回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2025年01月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 小田原市健康増進計画, 委員, 2018. 4～(現在に至る)
- 2) 横須賀市都市計画, 委員, 2021. 4～(現在に至る)
- 3) 横須賀市国保, 委員, 2021. 4～(現在に至る)
- 4) 日本保健師連絡協議会, 幹事, 2021. 6～(現在に至る)
- 5) 一般社団法人 全国保健師教育機関協議会, 理事/会長, 2021. 6～(現在に至る)
- 6) 日本在宅看護学会, 代議員/査読委員, 2022. 6～(現在に至る)
- 7) 厚木保健福祉事務所母子保健委員会, 委員, 2022. 10～(現在に至る)
- 8) 文部科学省 看護学教育モデル・コア・カリキュラム連絡調整委員会, 連絡調整委員, 2023. 7～2025. 2
- 9) 日本健康教育学会, 代議員/査読委員, 2022. 7～(現在に至る)
- 10) 厚生労働省「自治体保健師のマネジメント能力向上のためのe-ラーニング開発等一式に係る技術評価委員の調達に係る技術評価委員会」, 構成員, 2024. 4. 5～2024. 5. 31
- 11) 日本公衆衛生学会, 査読委員, 2024. 4～(現在に至る)
- 12) 日本在宅ケア学会, 理事/ガイドライン作成委員会委員長, 2024. 7～(現在に至る)
- 13) 鎌倉保健福祉事務所難病, 委員, 2024. 11. 1～2025. 3. 31

6. 社会貢献

- 1) 横須賀高校SSH PrincipiaⅡ研究テーマ「ヘルスリテラシー」担当, 2023. 4～2025. 3
- 2) 神奈川県人材育成体制検討ワーキング(県健康増進課との協働), 2024. 4～(現在に至る)
- 3) 高校訪問(大和西高校)進路ガイダンス講師, 2024. 6. 1

- 4) 山形県私立幼稚園・認定こども園協会 厚生労働省指定研修・キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」研修会 講師, 2024. 6. 3
- 5) 神奈川県保健師実習指導者研修会 講師, 2024. 6. 25
- 6) 小田原保健福祉事務所足柄上センター研修会「保健師の人材育成・確保・定着のために必要な体制づくり」 講師, 2024. 7. 10
- 7) 相模原市保育課主催 保育者ステップアップ研修（保健衛生・安全対策）「保健計画の作成と活用」 講師, 2024. 8. 1
- 8) オープンキャンパス 相談担当, 2024. 8. 4
- 9) 横浜市責任者保健師研修会「今後の保健師に求められること - 保健師責任職としての備え」 講師, 2024. 8. 23, 8. 27
- 10) 神奈川県保健師仕事説明会 運営サポート（幹事校）, 2024. 8. 26
- 11) 厚木保健福祉事務所中堅期保健師研修「探してみよう！中堅期保健師のやる気スイッチ」 講師, 2024. 9. 24
- 12) 神奈川県経験者採用新任者フォローアップ研修会 ファシリテーター・講師, 2024. 9. 25
- 13) 横浜市2年目保健師研修「個人・家族から集団・地域支援へ - 集団支援及び地域支援における保健師の役割」 講師, 2024. 9. 27
- 14) 厚木保健福祉事務所リーダー保健師会「保健師の人材育成」 講師, 2024. 11. 6
- 15) 相模原市保育課主催 保育者等基礎研修1「乳幼児の事故や疾病への対応」, 2024. 11. 29
- 16) 横須賀市保健師研修会「保健師の道標 キャリアラダーとみらい設計」 講師, 2024. 12. 3
- 17) 川崎市中堅前期研修「保健事業の見える化と事業評価」 講師, 2024. 12. 9
- 18) 川崎市中堅後期研修「保健事業の見える化の手法と事業評価（ロジックモデル）」 講師, 2024. 12. 12
- 19) 横須賀市保健所保健予防課（難病担当）コンサルテーション, 2024. 12. 19
- 20) 神奈川県中堅期研修 ファシリテーター・講師, 2024. 12. 20
- 21) 神奈川県保健師部課長会研修「行政保健師の専門性とマネジメント」 講師, 2025. 1. 10
- 22) 神奈川県・市町村統括保健師連絡会「神奈川県における自治体保健師の実態調査・ヒアリング」結果概要報告 情報提供者, 2025. 1. 17
- 23) 小田原保健福祉事務所足柄上センター管内市町村向け報告会「厚労科研：足柄上センター管内における自治体保健師の実態調査・ヒアリング報告」 情報提供者, 2025. 1. 28
- 24) 神奈川県・市町村管理者能力育成研修「公衆衛生看護管理の概要」 講師, 2025. 1. 29
- 25) 神奈川県保健師研修（基礎コース・後期）「個別支援を振り返ろう～事例検討の意義を知る」 講師, 2025. 2. 14
- 26) 神奈川県保健師研修会：少人数配属所属保健師の活動報告 助言者, 2025. 2. 26
- 27) 神奈川県市町村向けオンデマンド報告・研修会「神奈川県の保健師の確保・育成について - 全研調査と自治体へのヒアリング結果からの提言」 報告者, 2025. 2～2025. 3, オンデマンド配信
- 28) 全国保健師長会川崎支部研修会「これからの行政保健師に求められる役割・機能」 講師, 2025. 3. 14

025. 3. 8

- 29) 神奈川県保健師就職説明会 運営サポート（幹事校）, 2025. 3. 14
- 30) 海老名市・厚木児童相談所虐待防止研修会：海老名市事例検討会 助言者, 2025. 3. 18
- 31) ミニオープンキャンパス 相談担当, 2025. 3. 25

8. 学会等での活動

- 1) 第29回日本在宅ケア学会学術集会 企画・実行委員／ワークショップ「これからの在宅ケア人材～新カリキュラム“地域・在宅看護論”を踏まえて～」座長, 2024. 8. 22－23
- 2) 第83回日本公衆衛生学会総会 公開シンポジウム「進化する保健師の価値観と能力のコアを確認する」 - 公衆衛生看護のあり方に関する委員会企画 シンポジスト, 2024. 10. 30
- 3) 第21回日本ヘルスプロモーション学会・第13回日本産業看護学会 合同学術大会 企画・実行委員／パネルディスカッション「人々の力によるコミュニティ創り」座長, 2024. 11. 30
- 4) 第33回日本健康教育学会学術集会企画・実行委員, 2024. 12～（現在に至る）

10. 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員会, 2023. 4～2025. 3, 副委員長
- 2) 衛生委員会, 2021. 4～（現在に至る）

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（C）, 分担者, 石村珠美, 臺有桂, 市原真穂, 幼児期の医療的ケア児を育てる母親の強みに対する支援プロダクティビティの観点から, 50000, 2023年04月, 2026年03月, 基盤研究（C）（研究課題23K10384）
- 2) 基盤研究（C）, 分担者, 手島恵, 臺有桂, 鶴若麻理, 持続可能な開発目標（SDGs）の看護継続教育への普及促進と評価, 50000, 2022年04月, 2026年03月, 基盤研究C（研究課題22K12561）
- 3) 厚生労働科学研究, 分担者, 村嶋幸代, 佐伯和子, 臺有桂, 他6名, 自治体保健師の計画的・継続的な確保に関する研究 - 県内市町村における保健師の確保策の開発 -, 500千円, 2023年04月, 2025年03月, 厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 健康安全・危機管理対策総合研究（23LA1002）

13. 受賞

- 1) 第29回日本在宅ケア学会学術集会 , 優秀演題賞, 2024年08月, 石村珠美, 片平伸子, 臺有桂 : 幼児期の子どもを育てる母親のプロダクティビティ尺度の開発と信頼性・妥当性の検証

15. その他

- 1) 慈恵医科大学教育センター・認定管理者教育課程ファーストレベル「社会保障制度概論」
講師

野村美香 （大学院保健福祉学研究科兼務）

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本がん看護学会, 代議員, 2021. 3. 1～2024. 2. 28 , 社員総会で社員を代表して意思を表明し議決する
- 2) 日本赤十字看護学会, 専任査読委員, 2022. 4. 1～, 年に数本の学術論文を査読する.
- 3) 一般社団法人日本がん看護学会, 選挙管理委員, 2024. 4. 1～2025. 2. 28, 代議員、理事、監事の選挙を管理する
- 4) 横須賀市, 横須賀市救急医療センター指定管理選考委員長, 2024. 7. 1～2024. 12. 28, 救急医療センター管理団体を選考する

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 個別相談担当, 2024. 8. 6

7. 講演，放送

- 1) 実践教育センター、がん患者支援講座、がんと診断された時からの緩和ケア, 2024. 10. 8

8. 学会等での活動

- 1) 第39回日本がん看護学会 査読委員, 2024. 7. 1

9. 学内教育活動

1) 学部

- 卒業研究の研究指導, 2024. 4
- 成人看護学（急性期）Ⅱの視聴覚教材作成, 2024. 4
- 成人看護学（急性期）Ⅱの看護過程演習教材作成, 2024. 5
- 統合実習（急性期）実習運営・指導, 2024. 6
- 成人看護学（急性期）Ⅰの視聴覚教材作成, 2024. 10
- 成人看護学（急性期）実習運営・指導, 2024. 10

2) 博士前期課程

- がん看護学特論Ⅰ・Ⅲの教材作成, 2024. 4
- 課題研究の研究指導, 2024. 4
- がん看護学特論Ⅱの教材作成・ゲストスピーカー調整, 2024. 5
- がん看護学特論Ⅳの教材作成, 2024. 10
- がん看護学演習Ⅰ・Ⅱの教材作成・ゲストスピーカー調整, 2024. 10
- がん看護学実習Ⅰの運営と指導, 2024. 11

3) 実践教育センター

看護研究演習の教材作成, 2024. 5

がん患者支援講座の教材作成, 2024. 10

10. 学内各種委員会活動

- 1) 教育研究審議会, 2024. 4
- 2) 学長補佐会議, 2024. 4
- 3) 学部教授会, 2024. 4
- 4) 研究科教授会, 2024. 4
- 5) 研究科運営委員会, 2024. 4
- 6) 看護学科教授会, 2024. 4
- 7) 看護領域研究科委員会, 2024. 4
- 8) 実践教育センター 副センター長, 2024. 4
- 9) 実践教育センター センター運営会議, 2024. 4
- 10) 実践教育センター 実践教育推進委員会, 2024. 4
- 11) 実践教育センター 企画調整会議, 2024. 4
- 12) 実践教育センター 教育研究プロジェクト, 2024. 4

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 代表者, 野村美香, 土井英子, 大場美穂, がん検診の受診を支援するリスクコミュニケーショントレーニングプログラムの開発, 1, 040千円, 2023年04月, 2028年03月

水戸 優子 （大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 医療情報科学研究所編, 水戸優子監修. , 2024年12月, 日本語, 看護がみえるvol. 1基礎看護技術第2版, 活動・休息援助, メディックメディア, 90-145

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, 鈴木恵, 水戸優子, 金壽子, 2024年04月, 日本語, 誤嚥を起こしやすい患者を在宅で看取った家族の心情と患者との関わり, 査読あり, 日本健康医学会雑誌, 33 (1) , 125-132
- 2) その他（報告等）, 責任著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史 , 岸川学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝 , 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子, 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果 : パイロットスタディ, 査読あり, 保健医療福祉連携誌, 17 (2), 127-137
- 3) その他（報告等）, 責任著者, 大須美貴, 水戸優子, 加藤木真史, 2025年03月, 日本語, COVID-19影響下で新人看護職員を初めて指導した実地指導者の困難に関する探索的分析, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 22 (1), 3-17
- 4) 原著論文, 責任著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川学, 森 朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPEの実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52

3. その他の著作

- 1) 水戸優子, 2024年06月, 基盤研究(C)腰痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの普及と実装（課題番号20K10662）. , 科学研究費助成事業研究成果報告書, pp. 2-9
- 2) 水戸優子, 2025年03月, 巻頭言 6巻発刊に寄せて, 看護人間工学会誌, 6 巻, p. 1
- 3) 水戸優子, 2025年03月, 巻頭言 編集委員長のミッション, 日本看護学教育学会誌, 34巻 (3), p. 1

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 責任者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 水戸優子, 教育用模擬電子カルテを用いてチームで連携・協働する力を育む～IPEを通した看護実践能力の強

化～, 日本看護学教育学会第34回学術集会交流セッション, 2024年08月

- 2) 口頭, 責任者, 大須美貴, 水戸優子, COVID-19影響下で新人看護職員を初めて指導者実地指導者の困難に関する探索的分析, 日本看護学教育学会第34回学術集会, 2024年08月
- 3) 口頭, 責任者, 長島俊輔, 森朱輝, 細谷陽, 水戸優子, Augmented Reality技術を活用した看護技術教材の教育的効果の検証, 第6回看護人間工学会学術集会, 2024年09月
- 4) ポスター, 筆頭者, 水戸優子, 富田川智志, 國澤尚子, 首藤英里香, 平田美和, 若村智子, 西田直子, 地域・在宅における介護者と介護従事者の腰痛予防対策に関する文献検討, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
- 5) 口頭, 共同研究者, 西田直子, 水戸優子, 若村智子, 平田美和, 首藤英里香, 富田川智志, 國澤尚子, 看護基礎教育教員の移動技術教育内容と移乗・移動用具の活用の変化: 2018年度と2023年度の比較, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
- 6) ポスター, 責任者, 寺本千鶴子, 川名裕治, 慶貴子, 水戸優子, 日本国内における「排尿ケア」の概念分析, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
- 7) 口頭, 共同研究者, 芳村直美, 水戸優子, 三角あゆみ, 心身衰弱した超高齢者に対する回復に向けた食事ケアの実践報告, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
- 8) 口頭, 共同研究者, 西田直子, 水戸優子, 若村智子, 平田美和, 首藤英里香, 富田川智志, 國澤尚子, 交流セッション2, 対象者の特性に応じた用具を活用した移動動作技術, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
- 9) ポスター, 共同研究者, 鮫島輝美, 合田友美, 本間典子, 菊原美緒, 水戸優子, 鈴木智恵子, 高島真美, 田仲浩平, ウィリアムソン彰子, 米満潔, 医療技術教育におけるAR教材・VR教材が開く新たな教育演習空間の発見, 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月
- 10) 口頭, 共同研究者, 鈴木智恵子, 米満潔, 菊原美緒, 合田友美, 田仲浩平, ウィリアムソン彰子, 水戸優子, 本間典子, 高島真美, 鮫島輝美, 交流集会, 看護に役立つデジタル技術～デジタルって何だろう, 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本看護技術学会, 理事, 研究活動推進委員長, 2024. 4. 1～2024. 6, 看護技術の研究活動の推進, 学術集会最優秀賞の選出, 研究助成の選考, オンライン研修会開催の企画・運営を行った. さらに日本看護技術学会に投稿された論文の査読を行った
- 2) 一般社団法人日本看護技術学会, 技術研究成果検討委員 (移動動作評価班/食事ケア班), 2024. 4. 1～, 移動技術の普及活動, 研究活動を行った.
- 3) 一般社団法人日本看護学教育学会, 理事, 評議員, 2024. 4. 1～, 5回の会議に参加した.
- 4) 一般社団法人日本看護学教育学会, 編集委員長, 専任査読者, 2024. 6. ～, 年4回の編集委員会を開催し, 年6回のオンラインジャーナルの発行及び年3回の学会誌の発行を行った.
- 5) 一般社団法人日本看護学教育学会, 副倫理委員長, 2024. 6. ～, 年8回の会議に参加し, 看護学教育における倫理指針の作成, ならびに教育倫理に関するオンラインセミナーの企画運営

を行った。

- 6) バイオメカニズム学会, 評議員, 2024. 4. 1～, 学会運営, 優秀論文の審査を行った。
- 7) 公益社団法人日本看護科学学会, 代議員, 社会貢献委員, 2024. 4. 1～, 市民公開講座のパンフレット作成ならびに次世代育成プログラムの企画運営を行った。
- 8) 看護人間工学会, 理事長, 評議員, 2024. 4. 1～, 学会の企画運営, 事務局運営を行った。
- 9) ヒューマンサービス学会, 理事, 事務局長, 2024. 4. 1～, 学会の総務, 広報, 学会誌編集, 会計等の活動
- 10) ヒューマンサービス学会, 学術集会企画委員, 2024. 4. 1～2024. 11. 16, 第2回ヒューマンサービス学会学術集会の企画
- 11) 聖路加看護学会, 学術集会企画委員, 2024. 4. 1～2024. 9. 28, 第29回聖路加看護学会学術集会の企画

6. 社会貢献

- 1) 横須賀共済病院の4部門の看護職者研究グループの研究指導, 2024. 6. ～2025. 3.
- 2) 東名厚木病院の10部門の看護職者研究グループの研究指導, 2024. 4. ～2025. 3.
- 3) 学内実習ステーション企画として横須賀市在住の住民に呼びかけ, 看護技術論Ⅰの演習にて模擬患者育成プログラムを実施した. , 2024. 12.
- 4) 神奈川県立保健福祉大学同窓会の顧問として役員会に出席し, 同窓会の企画運営の助言を行うとともに, 神奈川県立保健福祉大学との連携調整を行った. , 2024. 4. ～2025. 3.

7. 講演, 放送

- 1) 医臨学産連携ニーズ発表・交流会inIDEC横浜by東京工科大学(協力神臨工). ニーズ⑩: 「ARをハンズフリー(音声指示)でスマートに使いたい」講師, 2024. 12. 16.
- 2) 神奈川県看護協会令和6年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル質管理Ⅱ, 看護サービスの質保証(文献の読み方) 講師, 2025. 1. 23.
- 3) 日本看護技術学会「第16回全国キャラバン研修会ジェネラルナースの技術力を高めよう! 移動動作技術のきほんと用具の活用」を企画運営. , 2025. 3. 9.
- 4) 東京家政大学健康科学部看護学科FD「DX(あるいはAR, VR等)技術を活用した看護教育～教育活動を研究成果につなぐ～」講師, 2025. 3. 11.

8. 学会等での活動

- 1) 日本看護学教育学会第34回学術集会、10教授方略群座長. , 2024. 8. 20.
- 2) 日本看護学教育学会第34回学術集会、指定発言者. オンライン化した学会誌の今後の在り方を考える. 理事会企画セッション5, , 2024. 8. 20.
- 3) 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集、キーセッションⅥ, 事象を深く読み解くための混合研究法の実践. 講演者亀井智子. 座長. , 2024. 10. 27.

- 4) 第44回日本看護科学学会学術集会一、般演題29, 看護技術・ケアイノベーション1. 座長
., 2024. 12. 8.
- 5) 第44回日本看護科学学会学術集会、市民公開講座, 講演者榊原千秋 快うん防災—もしも
に備えて, 日ごろから「気持ちよく出す」ことを整えましょう—. の企画, 広報, 当日運
営, 2024. 12. 8.

9. 学内教育活動

1) 学部

看護学原論 (15コマ), 看護倫理 (8コマ), 看護技術論 I (8コマ), II (2コマ), III (4コマ), ヘルスアセスメント論 (2コマ) を担当した。文献講読、ディベート、学生によるプレゼンテーションを導入した。さらに看護管理学の非常勤教員調整と演習担当3コマ分を行った。., 2024. 4～2025. 3

基礎看護学実習 I (10名担当), II (10名担当), III (全体指導), 統合実習 (2名) を担当し指導を行った。., 2024. 4～2025. 3

2) 大学院 (博士前期)

博士前期課程科目: 基礎看護学特論・演習, 看護倫理, フィジカルアセスメントを担当し, 学生2名の指導教員を務めた。., 2024. 4～2025. 3

3) 大学院 (後期課程)

博士後期課程科目では1名の指導補助教員を行った。., 2024. 4～2025. 3

4) 実践教育センター

教員養成科目: 看護教育課程論 (基礎看護学) 4時間, 看護論演習4時間を担当, 2024. 7

臨地実習指導者科目: 看護論演習授業を計12時間担当, 2024. 7

10. 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員会, 2024. 1～, 大学院副研究科長として研究科長を補佐した。特記すべきこととして, 大学院9月修了, 満期退学の制度化および養護・栄養専修免許可能なコース設置に向けて, 会議等の開催, 申請者のサポート等の学内調整を行い設置の承認を得た。さらに職業実践力育成プログラム (BP) の看護領域について再申請 (厚生労働省) を事務局と相談しながら進め, 2025年2月に承認を得た。通年。
- 2) 研究科入試委員会, 2024. 1～, 大学院入試が滞りなく行われるように入試委員長や関連各者と相談しながら入試業務を行った。
- 3) パーチ委員会 パーチリーダー, 2024. 1～, パーチ部屋の管理・運営, 新入生歓迎ウェルカムランチ, 七夕, メタバースパーチのプレ企画, もちつき大会, 年2回のニュースレター作成・発行, ヒューマンサービス関連科目担当者情報交換会を企画・運営した。また, 同窓会とヒューマンサービス学会との共催企画を運営した。

- 4) 神奈川県立保健福祉大学同窓会顧問, 2024. 1～, 同窓会活動を支援し、同窓会とヒューマンサービスパーチの共催にて、国家試験前の学部4年生および全学生のための「餅つき大会」を企画、運営した。
- 5) ダンスサークルD-KRUP顧問, 2024. 1～, 横須賀市から招待され横須賀コーストストリートパフォーマンスにてダンスを披露した。

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 代表者, 水戸優子, 地域・在宅向け腰痛予防対策指針をふまえた移動技術ハイブリッド型研修システムの構築. , 1, 470千円, 2024年04月, 2025年03月
- 2) 基盤研究 (B) , 分担者, 鮫島輝美, 教育DX化にともなう技術教材の教育的意義・活用の開発を目指したアクション・リサーチ. , 250千円, 2024年04月, 2025年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究) , 分担者, 渡邊恵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 長島俊輔, 森朱輝, 水戸優子., 「情動知能の可視化による学習効果と教育方法の一考察 -2年次看護学生の縦断調査より-, 310千円, 2024年07月, 2025年03月

宮芝智子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 舟島なをみ, 中山登志子, 上國料美香, 服部美香, 宮芝智子他, 2025年03月, 日本語, 看護実践・教育のための測定ファイル第4版, 第5章：教授活動の質を測定する、第6章：学生の学習活動の質を測定する, 医学書院, 234-244, 265-275, 309-319

3. その他の著作

- 1) 村上明美, 渡邊千登世, 宮芝智子, 2024年07月, 【病院と地域を横断して働く看護師の育成 神奈川県内の看護師の新たな働き方モデル】「看護師の新たな働き方モデル」開発の実際と教育プログラムの概要, 看護管理, 34(7), 550-554

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者, 宮芝智子, 村上明美, 渡邊千登世, 横山郁子, 和田由樹, 「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の開発その1—導入1年目のプロセス評価—, 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月
- 2) 口頭, 共同研究者, 渡邊千登世, 村上明美, 宮芝智子, 横山郁子, 和田由樹, 「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の開発その2—導入1年目のプログラム評価とプロセス評価—, 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月
- 3) 口頭, 共同研究者, 本舘教子, 村上明美, 渡邊千登世, 宮芝智子他, 病院と地域を横断して働く新人看護師教育プログラムの開発—1年が経過して—, 第28回日本看護管理学会学術集会, 2024年08月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護教育学学会, 専任査読者, 2007. 4. 1～
- 2) 千葉看護学会, 専任査読者, 2016. 4. 1～
- 3) 日本看護教育学学会, 評議委員, 2019. 4. 1～
- 4) 神奈川県看護協会看護研究倫理審査会, 委員, 2022. 4. 1～
- 5) 日本看護教育学学会第33回学術集会, 企画委員, 2023. 12～2024. 11
- 6) 日本看護教育学学会, 編集委員, 2024. 4. 1～
- 7) 日本看護教育学学会第34回学術集会, 企画委員, 2024. 12～

6. 社会貢献

- 1) 横須賀共済病院における院内看護研究の指導担当, 2016. 4. 1～
- 2) 看護教育学研究33(1)の論文査読担当, 2024. 4～2025. 3

- 3) 千葉看護学会誌の論文査読担当, 2024. 4～2025. 3
- 4) 横浜国立市民病院主催の「教育担当者研修」の講師担当, 2024. 5～2025. 2
- 5) 日本看護科学学会第44回学術集会の演題査読, 2024. 6
- 6) 神奈川県立病院機構主催の「人材育成研修」の講師担当, 2024. 7～2024. 11
- 7) オープンキャンパス 個別相談担当, 2024. 8
- 8) 横須賀総合高等学校における模擬授業を担当, 2024. 11
- 9) 東海大学大学院修士課程の「看護教育論」の講師担当, 2024. 10～2025. 1
- 10) 神奈川県立よこはま看護専門学校「教育学」の講師担当, 2024. 12
- 11) 神奈川県看護協会主催の「教育担当者研修」の講師担当, 2024. 12
- 12) 看護教育学研究34(2)の演題査読担当, 2025. 3
- 13) 日本看護学教育学会第35回学術集会の演題査読担当, 2025. 3
- 14) ミニオープンキャンパス 個別相談担当, 2025. 3

8. 学会等での活動

- 1) 日本看護教育学会第33回学術集会 シンポジスト, 2024. 8. 24

9. 学内教育活動

1) 学部

- エビデンスベーストナーシング 科目責任者 8コマ担当, 2024. 4～2024. 6
- 問題に基づく学習法 科目責任者 8コマ担当, 2024. 4～2024. 6
- 看護教育学 科目責任者 8コマ担当, 2024. 10～2024. 12
- 看護とキャリアディベロップメント 科目責任者 8コマ担当, 2024. 10～2024. 11
- 臨床看護応用演習 3コマ担当, 2024. 10
- 基礎看護学実習Ⅰ 1単位5名担当, 2024. 12
- 統合実習 3単位5名担当, 2024. 6～2024. 7
- 卒業研究 2単位2名担当, 2024. 4～2025. 1
- 看護管理学 4コマ担当および科目調整担当, 2024. 10～2024. 12

2) 博士前期課程

- 看護教育学特論 科目責任者 15コマ担当, 2024. 4～2024. 7
- 看護理論 科目責任者 12コマ担当, 2024. 4～2024. 7
- 看護教育学演習 科目責任者 30コマ担当, 2024. 10～2025. 1
- 看護学特別研究 4名担当, 2024. 4～2025. 3

3) 博士後期課程

- 保健福祉人材育成論 科目責任者 11コマ担当, 2024. 10～2025. 1

4) 実践教育センター

教員・教育担当者養成課程看護コース「看護教育方法概論」4時間担当, 2024. 5
看護実習指導者講習会(病院等) 看護実習方法論 「実習評価の意義と方法」8時間担当, 2024. 7

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学教育評価ワーキンググループ リーダー, 2024. 4～2025. 3
- 2) 研究委員会 副委員長, 2024. 4～2025. 3
- 3) 研究助成選考専門部会 部会長, 2024. 4～2025. 3
- 4) 看護領域研究科委員会, 2024. 4～2025. 3
- 5) 学科教授会, 2024. 4～2025. 3

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 代表者, 宮芝智子, 舟島なをみ, 看護学教育における授業改善システム【講義・演習版】の開発, 3, 000千円, 2018年04月, 2025年03月

15. その他

- 1) 修了生の学会発表および論文投稿の支援

大場 美穂（大学院保健福祉学研究科兼務）

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本国際看護学会第9回学術集会, 準備・運営委員, 2024. 2. 1～, 大会長は実践教育センターの松永早苗准教授

6. 社会貢献

- 1) 横須賀米海軍病院との交流（ナーシングシンポジウム）, 2024. 7. 15
- 2) オープンキャンパス 相談コーナー担当, 2024. 8. 4
- 3) 県立保健福祉大学県立高校生学習コンソーシアム「一分一秒が惜しい救命の場で活躍している看護師のことを知っていますか？」, 2024. 9. 12
- 4) 横須賀米海軍病院との交流, 2025. 3. 7
- 5) ミニオープンキャンパス 相談コーナー担当 , 2025. 3. 25

7. 講演，放送

- 1) 2024年度八重桜の会. 透析患者における足部皮膚障害の要因の検討ー足潰瘍の予防ケア確立を目指してー., 2024. 11. 4

9. 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅰ，成人看護学（急性期）Ⅱ，成人看護学（急性期）実習，統合実習，卒業研究，臨床看護応用演習，看護応用ゼミナール, 2024. 4-2025. 3

2) 研究科

先端侵襲緩和ケア特論Ⅰ, 2024. 4-2024. 7

10. 学内各種委員会活動

- 1) ヒューマンサービスセンター 国際協働部門，部門長, 2024. 4-2025. 3
- 2) 研究倫理審査委員会，自己評価専門部会委員, 2024. 4-2025. 3
- 3) 学科実習委員会, 2024. 4-2025. 3
- 4) チューター, 2024. 4-2025. 3

11. 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（C）, 代表者, 大場美穂, 透析患者に対するテーラーメイドケアを目指した非侵襲的な皮膚生理機能評価方法の開発., 3, 200千円, 2021年04月, 2025年03月
- 2) 基盤研究（C）, 分担者, 野村美香（研究代表者）, がん検診の受診を支援するリスクコミュ

ニケーショントレーニングプログラムの開発, 100千円, 2023年04月, 2027年03月, 2024年度
分担金

15. その他

- 1) 【展示】IAMプロジェクトチーム(金澤悠喜, 加藤綾子, 大場美穂). Intake Automatic Measurement (I AM) わかるんです. SFC万学博覧会2024 SFC Open Research Forum. 2024. 11

加藤木真史（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 共著者, 亀田典宏, 縄秀志, 佐居由美, 加藤木真史, 樋勝彩子, 鈴木彩加, 鹿股美奈子, 2024年08月, 日本語, People-Centered Care およびヘルスプロモーションに基づく便秘改善プログラムにおける有用性の検討, 査読あり, 日本看護技術学会誌, 23巻, 85-95, 10. 18892/jsnas. 23. 0_85
- 2) その他（報告等）, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 加藤木真史, 岸川学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森朱輝, 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子, 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ, 査読あり, 保健医療福祉連携, 17巻2号, 127-137, 10. 32217/jaipe. 17. 2_146
- 3) その他（報告等）, 筆頭著者, 加藤木真史, 2025年01月, 日本語, 模擬電子カルテを活用した看護技術演習で実践力を高める, 査読なし, 聖路加看護学会誌, 28巻, 57-60, 10. 34414/0002000416
- 4) 原著論文, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川学, 森朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPE の実装と教育効果－紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証－, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2巻, 44-52
- 5) その他（報告等）, 共著者, 大須美貴, 水戸優子, 加藤木真史, 2025年03月, 日本語, COVID-19 影響下で新人看護職員を初めて指導した実地指導者の困難に関する探索的分析, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 22巻1号, 3-17, 10. 15042/0002000146

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 栗田愛, 吉井紀子, 北川那美, 加藤木真史, 加藤京里, 菅原啓太, 吉田みつ子, 水戸優子, 香春知永, 大久保暢子, 全国訪問看護ステーションにおける看護師が実施する排便と浣腸を含む排便ケアの実態調査, 日本看護技術学会第22回学術集会, 2024年10月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人聖路加看護学会, 学会誌編集委員, 2018. 6～
- 2) 一般社団法人日本看護技術学会, 評議員, 2020. 6～
- 3) 一般社団法人日本看護技術学会, 編集委員, 2020. 7～2024. 6
- 4) 一般社団法人日本看護技術学会, 技術研究成果検討委員, 2020. 7～
- 5) 公益社団法人日本看護科学学会, 和文誌専任査読委員, 2021. 10～

- 6) 日本ヒューマン・ケア心理学会, 第25回学術集会企画委員, 2024. 5～2024. 9
- 7) ヒューマンサービス学会, 総務委員, 2024. 5～
- 8) 一般社団法人日本看護技術学会, 理事, 2024. 6～
- 9) 一般社団法人日本看護技術学会, 研究活動推進委員, 2024. 6～
- 10) 一般社団法人聖路加看護学会, 評議員, 2024. 6～

6. 社会貢献

- 1) 神奈川県立保健福祉大学大学院 大学院入試説明会 博士前期課程看護領域説明会担当, 2024. 6. 8
- 2) 神奈川県立保健福祉大学 オープンキャンパス 個別相談担当, 2024. 8. 4
- 3) 神奈川県立保健福祉大学 看護学科ミニオープンキャンパス 個別相談担当, 2025. 3. 25

7. 講演, 放送

- 1) CareNetTV Nurse, Webセミナー, 今はこうするケアの根拠2: 外科, 2024. 5. 14
- 2) 東邦大学医療センター大橋病院 院内教育研修「看護師が知るべき『からだのしくみ』」講師, 2024. 11. 11～2024. 12. 2
- 3) 日本看護技術学会 第14回全国キャラバン研修会「エビデンスに基づく排便援助の技」講師, 2024. 12. 14
- 4) 横須賀共済病院 実習指導者研修「最新版! 教育現場の現状と臨床に求めることー患者中心の看護を目指した実習指導ー」講師, 2025. 1. 24
- 5) 2024年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会 ポスター発表, 2025. 3. 7, 渡邊恵, 長島俊輔, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 水戸優子. 教育用模擬電子カルテでの情報共有を基盤とした教育実践報告ーこれからの保健医療福祉を担う学生の学びと看護実践能力の検討ー(渡邊恵代表)
- 6) 2024年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会 ポスター発表, 2025. 3. 7, 渡邊恵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 長島俊輔, 森朱輝, 水戸優子. 2年次看護学生の情動知能 (Emotional Intelligence) の変化と学びの様相にみる教育方法の一考察
- 7) 2024年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会 ポスター発表, 2025. 3. 7, 佐々木杏子, 水戸優子, 加藤木真史, 渡邊恵, 長島俊輔, 森朱輝. 実習前の地域住民参加型演習に関する実践報告ー演習に参加した地域住民ボランティアの満足度と今後に向けた課題ー

8. 学会等での活動

- 1) 日本ヒューマン・ケア心理学会第 25 回学術集会 ワークショップ「Z世代の人材育成ー看護学導入期における特徴と教育上の工夫ー」, 2024. 7. 20, 加藤木真史, 大橋久美子.
- 2) 日本看護学教育学会第34回学術集会 交流セッション「教育用模擬電子カルテを用いてチームで連携・協働する力を育むーIPEを通した看護実践能力の強化ー」, 2024. 8. 19, 渡邊 恵,

長島俊輔, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 水戸優子.

- 3) 第29回聖路加看護学会学術大会 シンポジウム「看護として残すものと手放すものとは何か、これからの看護教育を考える」, 2024. 9. 28, 加藤木真史. 模擬電子カルテを活用した看護技術演習で実践力を高める
- 4) 日本看護技術学会第22回学術集会 口演「動く・体位を整えるケア」座長, 2024. 10. 26
- 5) 日本看護技術学会第22回学術集会 交流セッション「いま再び『温罨法』を考える」, 2024. 10. 27, 加藤木真史, 加藤京里, 栗田愛, 酒井礼子, 菅原啓太, 田中美智子, 塚越みどり, 野月千春, 丸山朱美, 南山祥子

9. 学内教育活動

1) 学部

基礎看護学自己学習用ウェブサイトの管理・更新（看護技術論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント論、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）, 2024. 4～2025. 3

臨地実習指導、事前・事後学習支援（基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、統合実習）, 2024. 4～2025. 3

卒業研究指導（卒業研究）, 2024. 4～2025. 3

モデル人形等を用いた体験型看護技術演習（看護技術論Ⅰ・Ⅱ）, 2024. 4～2025. 1

教育用模擬電子カルテを活用した看護技術演習、看護過程演習（看護技術論Ⅱ・Ⅲ）, 2024. 4～2025. 1

多重課題型・状況設定型技術試験（看護技術論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント論）, 2024. 4～2025. 1

manaba小テスト機能を活用した事前学習コンテンツ作成（看護技術論Ⅱ、ヘルスアセスメント論）, 2024. 4～2025. 1

ディベートを活用した事例検討（看護倫理）, 2024. 4

授業要項、実習要項の作成（ヘルスアセスメント論、基礎看護学実習Ⅲ）, 2024. 10～2025. 1

知識定着のための看護師国家試験過去問集の作成（ヘルスアセスメント論）, 2024. 10～2025. 1

模擬患者を活用したシミュレーション演習（臨床看護応用演習）, 2024. 10

地域住民参加型演習の運営（看護技術論Ⅰ）, 2024. 11

実習施設の看護師参加型ユニフィケーション演習の運営（看護技術論Ⅰ）, 2024. 11

呼吸音聴診シミュレータ・心臓病患者シミュレータを用いた身体診察演習（ヘルスアセスメント論）, 2024. 12

実習前演習「行動計画の立案と発表」の実施（基礎看護学実習Ⅲ）, 2025. 1

2) 博士前期課程

看護実践能力向上に向けた講義・演習の展開（フィジカルアセスメント）, 2024. 4～2024. 9

大学院（博士前期課程）看護領域 基礎看護学の研究指導補助（基礎看護学特論・演習、看護学特別研究）, 2024. 4～2025. 3.

大学院（博士前期課程）看護領域 看護教育学の研究指導補助（看護学特別研究）, 2024. 4～2025. 3

3) 実践教育センター

アクティブラーニング（シミュレーション）に関する講義（看護教育方法演習）, 2024. 8. 6

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学科教務委員会, 2024. 4～2025. 3
- 2) 看護学教育評価に関するワーキンググループ, 2024. 4～2025. 3
- 3) 看護学科選挙管理委員会, 2025. 1

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 若手研究, 代表者, 加藤木真史, 内科的治療を受ける入院患者への生活行動に基づく新たな離床看護プログラム開発と評価, 4, 160千円, 2018年04月, 2025年03月
- 2) 基盤研究（C）, 代表者, 加藤木真史, 加藤京里, 栗田愛, 菅原啓太, 長島俊輔, 2週間の排便日誌から排便パターンを分類する新しい看護アセスメント方法の確立, 4, 030千円, 2022年04月, 2026年03月
- 3) 基盤研究（C）, 分担者, 栗田愛, 桑本暢子, 加藤木真史, 加藤京里, 菅原啓太, 武田利明, 篠崎恵美子, 伊藤千晴, 浣腸と排便を含む安全な排便ケア実施にむけた長期目標統合型訪問看護実践モデルの構築, 4, 860千円, 2024年04月, 2028年03月
- 4) 一般社団法人日本看護技術学会 2024年度研究助成, 代表者, 加藤木真史, 加藤京里, 栗田愛, 酒井礼子, 菅原啓太, 田中美智子, 丸山朱美, 南山祥子, 矢野理香, 腰部温罨法の実施間隔・期間の違いによる便秘症状への効果：3群ランダム化比較試験, 299千円, 2024年04月, 2025年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B（奨励研究）, 分担者, 渡邊恵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 長島俊輔, 森朱輝, 水戸優子, 情動知能の可視化による学習効果と教育方法の一考察－2年次看護学生の縦断調査より－, 310千円, 2024年07月, 2025年03月

黒河内仙奈（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 共著者, 間瀬由記, 黒河内仙奈, 2025年03月, 日本語, 回復期リハビリテーション病院の実習指導者における看護学生の目標志向型思考を育む教育的支援, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 2025 Vol. 22, 29-40, 10. 15042/0002000147
- 2) その他（報告等）, 共著者, 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 2025年03月, 日本語, 高齢者看護学におけるジグソー学習法を用いた看護技術演習の実践報告, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 2025 Vol. 22, 41-52, 10. 15042/0002000148

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本老年看護学会, 査読委員, 2016. 4. 1～
- 2) 日本保健医療福祉連携教育学会, 査読委員, 2016. 4. 1～
- 3) 日本リハビリテーション看護学会, 査読委員, 2017. 4. 1～
- 4) 一般社団法人日本老年看護学会, 老年看護政策検討委員会, 2020. 4. 1～
- 5) 一般社団法人千葉看護学会, 理事, 2021. 4. 1～
- 6) 文化看護学会, 評議員, 2023. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) 高等学校における模擬授業・進路ガイダンス, 2024. 6. 20
- 2) 逸見地区における住民向け健康教室, 2024. 9. 15
- 3) 認知症サロンの開催, 2025. 3. 22

8. 学会等での活動

- 1) 日本老年看護学会第29回学術集会 座長, 2024. 6. 30
- 2) 千葉看護学会第30回学術集会 座長, 2024. 9. 7

9. 学内教育活動

- 1) 学部
領域横断型学習教材（ウェブサイト）作成, 2024. 6

10. 学内各種委員会活動

- 1) 全学進路支援ワーキング, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) 看護学教育評価に関するワーキンググループ, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 研究科運営会議, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

4) 看護研究科委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C), 代表者, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 島津尚子, 小河原格也, 末田千恵, 脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発, 4, 160千円, 2020年04月, 2025年03月
- 2) 基盤研究 (C), 分担者, 末田千恵, 河原智江, 黒河内仙奈, 在宅看取り支援におけるケアマネジャーの自己評価尺度とスキルアップ支援ツールの開発, 250千円, 2022年04月, 2026年03月
- 3) 挑戦的研究 (萌芽), 分担者, 織井優貴子, 黒河内仙奈, 河西敏幸, 井上薫, 在宅療養高齢者が生き生き過ごすための「コミュニケーションロボット」の活用と評価, 550千円, 2019年04月, 2025年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 A (協働研究), 分担者, 黒河内仙奈, 岸川学, 池田公平 ほか5名, 地域特性を反映した領域横断型学習教材を用いた授業の展開と評価—学生と教材作成に参加した地域住民への効果の評価—, 429千円, 2024年05月, 2025年03月

15. その他

- 1) 横須賀市立看護専門学校「看護研究」担当
- 2) 東京医療保健大学 論文審査委員

小林珠実（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本緩和医療学会，教育・研修委員会ELNEC-JコアカリキュラムWPG員, 2024. 8. 31～2026. 7. 31

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 委員長担当, 2024. 8. 3～8. 4
- 2) 看護学科ミニオープンキャンパス 委員長担当, 2025. 3. 25
- 3) 系統・分野別説明会（看護系）における講義 湘南学院高等学校, 2024. 6. 28
- 4) 川崎市立川崎病院における事例研究指導, 2024. 6～2025. 2
- 5) 日本緩和医療学会主催 第31回ELNEC-Jコアカリキュラム指導者養成プログラム講師, 2025. 2. 15

7. 講演，放送

- 1) がん患者支援講座プログラム＜講座5＞がんサバイバーとのパートナーシップ②「がん患者とのコミュニケーション」, 2024. 10. 12

9. 学内教育活動

1) 保健福祉学部 看護学科

- 成人看護学（急性期）Ⅰ, 2024. 10. ～2025. 3
- 成人看護学（急性期）Ⅱ, 2024. 4～2024. 9
- 基礎看護実習Ⅲ, 2025. 2.
- 成人看護学（急性期）実習, 2024. 10～2025. 3
- 卒業研究, 2024. 4～2025. 3
- 臨床看護応用演習, 2024. 10～2024. 12

2) 研究科 博士前期課程

- 臨床薬理学, 2024. 10～2025. 2
- がん看護学特論Ⅰ, 2024. 4～2024. 9
- がん看護学特論Ⅱ, 2024. 7
- がん看護学特論Ⅲ, 2024. 7
- がん看護学特論Ⅳ, 2024. 10～2025. 1

3) 実践教育センター

- がん患者支援講座プログラム＜講座5＞がんサバイバーとのパートナーシップ②「がん患者とのコミュニケーション」, 2024. 10. 12

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) 看護学科オープンキャンパス委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 看護学科研究科委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 分担者, 大場美穂, 土井英子, 野村美香, 小林珠実, 透析患者に対するテーラーメイドケアを目指した非侵襲的な皮膚生理機能評価方法の開発, 50000, 2021年04月, 2025年03月

高橋佐和子（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 池添 志乃 編集代表, 津島 ひろ江・荒木田 美香子・岡本 啓子 編著, 2024年04月, 日本語, 養護教諭養成講座学校における養護活動の展開改訂11版, 第21章養護活動の評価, ふくろう出版, 315-320
- 2) 共著, 荒木田美香子(編), 2025年03月, 日本語, 公衆衛生看護学テキスト第4巻公衆衛生看護活動Ⅱ2025年版学校保健・産業保健, 第7章学校保健における健康危機管理, 医歯薬出版, 114-125
- 3) 共著, 編著 内山有子, 2025年03月, 日本語, 教員・養護教諭が知っておきたい! 未来を創る学校保健, 第1章学校保健とは、第12章特別な支援が必要な子供の健康管理、第14章教職員の健康管理, みらい, 11-22, 159-167, 180-187

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, 山邊悠太, 高橋時一郎, 荒木田美香子, 矢崎恵都, 内田健太, 森谷友昭, 小玉周平, 松田有子, 宮本千津子, 青木恵美子, 高橋佐和子, 安藤瑞穂, 山下留理子, 五十嵐貴大., 2024年05月, 日本語, 技術に基づく3モードの気管吸引技術習得支援システム, 査読あり, 映像情報メディア学会誌, 2024年78巻3号, 339-347, 10. 3169/itej. 78. 339

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, 高橋佐和子, 伊藤純子, 工学系高専生と協働した性教育アプリ開発のためのアイデア創出ワークショップ, 日本地域看護学会第27回学術集会, 2024年06月
- 2) 口頭, 共同研究者, Yuko UCHIYAMA, Fumiko NAKAMURA, Sawako TAKAHASHI., The Role of Yogo Teachers in School Health in Japan, International Symposium on Nursing and School Health, 2024年10月
- 3) ポスター, 筆頭者・責任者, 高橋佐和子, 伊藤純子, A市立中学校3校の性に関する認識と規範意識, 日本公衆衛生学会第26回学術集会, 2024年10月
- 4) ポスター, 共同研究者, 伊藤純子, 高橋佐和子, ニュータウンの地域凝集性に関する定量的研究, 日本公衆衛生学会第26回学術集会, 2024年10月
- 5) 口頭, 共同研究者, 中村富美子, 高橋佐和子, 内山有子, 加藤恵美, 齋藤朱美, 芝裕介, 荒木田美香子, 養護教諭のスキルラダーを活用したオンライン研修システムの開発 第1報 健康相談, 日本学校保健学会70回学術大会, 2024年11月
- 6) 口頭, 筆頭者・責任者, 高橋佐和子, 伊藤純子, 高専生と共同したコミュニケーションを学習するデバイス（ふたりんごと）の開発, 第13回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2025年01月

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本公衆衛生看護学会, 学術実践開発委員, 2024. 4. 1～
- 2) 養護教諭養成大学協議会, 監事, 2024. 4. 1～
- 3) 神奈川県, 学校保健事業検討委員, 2023. 4. 1～
- 4) 日本創造学会, 倫理委員, 2024. 4. 1～
- 5) 5)School Nurse International Conference (Japan, 実行委員, 2024. 9. 1～

6. 社会貢献

- 1) いきいきサロン講演会, 横須賀市大楠地区, 2024. 5
- 2) 養護教諭課程の説明・養護教諭志望者への相談対応, オープンキャンパス, 2024. 8
- 3) 卒業生対象養護教諭交流会, 2024. 8
- 4) 模擬授業, 金沢高等学校, 2024. 6
- 5) 模擬授業, 清泉女学院高等学校, 2024. 12

7. 講演，放送

- 1) 性教育講師, 秀英高等学校, 2024. 4
- 2) メンタルヘルス講演会, 豊田高等専門学校, 2024. 5
- 3) 研修会講師, National Network of Yogo Teachers in Japan, 2024. 5
- 4) 静岡県保健師会, 研修会講師, 2024. 5
- 5) 中堅養護教諭研修, 静岡県教育委員会, 2024. 6
- 6) 薬物乱用防止教育講師, 津久井浜高等学校, 2024. 6
- 7) 性教育講師, 麻布大学附属高等学校, 2024. 6
- 8) 新規採用養護教諭研修講師, 神奈川県教育委員会, 2024. 7
- 9) 性教育講師, 厚木北高等学校, 2024. 7
- 10) 高齢者講演講師, 静岡県森町, 2024. 8
- 11) 養護教諭研修講師, 青森県教育委員会, 2024. 9
- 12) メンタルヘルス講演講師, 静岡県菊川市, 2024. 9
- 13) 性教育講師, 福島県立いわき光洋高等学校, 2024. 10
- 14) メンタルヘルス講演講師, 浜松市立積志中学校, 2024. 10
- 15) 南北関東地区研修会講師, 静岡県助産師会, 2024. 11
- 16) 性教育講師, 誠恵高等学校, 2024. 11
- 17) 学校保健委員会講演講師, 掛川西中学校, 2024. 11
- 18) 保健師研修会講師, 養父町, 2024. 11
- 19) 性教育講師, 六合中学校, 2024. 12
- 20) 歯科衛生士研修講師, 愛知県, 2024. 12
- 21) 教科研養護部会研究協議会助言, 神奈川県教育委員会, 2024. 12

- 22) 学校保健委員会講演講師, 西柴中学校, 2024. 12
- 23) 教職実践演習非常勤講師, 東洋大学, 2024. 12
- 24) 学校保健委員会講演講師, 青葉台中学校, 2024. 12
- 25) 岩瀬支部養護教諭研修会講師, 2025. 1
- 26) 男女平等啓発事業講師, 朝霞市, 2025. 1
- 27) 性教育講師, 横須賀総合高等学校, 2025. 1
- 28) メンタルヘルス講演講師, 清水庵原小学校, 2025. 1
- 29) メンタルヘルス講演講師, 函南東中学校, 2025. 1
- 30) 性教育講師, 横須賀総合高等学校, 2025. 2
- 31) 性教育講師, 秀英高等学校, 2025. 2
- 32) 組織づくり研修会講師, 清水私立幼稚園, 2025. 2
- 33) 性教育講師, 横須賀市立池上中学校, 2025. 2
- 34) 保健師研修会講師, 丹波市, 2025. 2
- 35) 保健師ACP研修会講師, 森町, 2025. 3
- 36) 認知症予防講演会講師, 玉城町, 2025. 3
- 37) 性教育, 長井中学校, 2025. 3
- 38) メンタルヘルス講演会講師, 希望丘中学校, 2025. 3
- 39) 保健師ACP研修会講師, 森町, 2025. 3

9. 学内教育活動

1) 学部

- 養護教諭採用試験対策講座の開催, 2024. 8
- 養護実習Ⅰ実習要項作成, 2024. 11
- 養護実習Ⅱ実習要項作成, 2024. 11
- 学校ボランティア支援, 2024. 5
- 統合実習要項作成：特別支援学校用・児童養護施設用・医療型障害者施設用, 2024. 4

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学教育評価に関するワーキンググループ, 2024. 4
- 2) 学科学生委員会 学生委員, 2024. 4
- 3) 学科学生委員会 2年担任, 2024. 4
- 4) 学科FD・SD委員会, 2024. 4
- 5) 広報委員会 SNSによる学科広報担当, 2024. 4
- 6) 看護領域研究科委員会, 2024. 4
- 7) (教職課程教育評価担当), 2024. 4

11. 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 代表者, 高橋佐和子, 伊藤純子, 榎本貴志, 池山淳, 山邊 悠太, 都築啓太, 性に関する自己決定スキル習得を支援するAI活用型シミュレーション教材の開発, 4, 420千円, 2023年04月, 2026年03月
- 2) 基盤研究 (B) , 分担者, 荒木田 美香子, 松田 有子, 青木 恵美子, 五十嵐 貴大, 宮本 千津子 , 田中 博子 , 高橋 時市郎, 小玉 周平, 高橋 佐和子, 森谷 友昭, 山邊 悠太, 安藤 瑞穂, カテーテル挿入技術のための拡張現実を活用した学習支援システムの看護教育への最適化, 8, 580千円, 2023年04月, 2026年03月
- 3) 基盤研究 (C) , 分担者, 伊藤純子, 鈴木知代, 杉山眞澄, 高橋佐和子, 池山淳, ニュータウン住民の互助を促進する地区組織・住民組織活動モデルの開発, 4, 420千円, 2023年04月, 2026年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 学科研究費, 分担者, 瀬谷絵莉佳, 高橋佐和子, 高橋奈津子, 佐々木杏子, 森朱輝, 中山直子, 神奈川県立保健福祉大学看護学科卒業生の動向調査, 200千円, 2024年04月, 2025年03月

15. その他

- 1) 非常勤講師, 東洋大学, 2024. 7
- 2) 非常勤講師, 湘南鎌倉医療大学, 2024. 7
- 3) 非常勤講師, 国際医療福祉大学, 2024. 7
- 4) 非常勤講師, 幸手看護学校, 2024. 8
- 5) 保健師課程非常勤講師, 金城大学, 2024. 9
- 6) 非常勤講師, 国際医療福祉大学, 2025. 1
- 7) 非常勤講師, 産業医科大学, 2025. 1
- 8) 非常勤講師, 静岡県立看護学校, 2025. 2

田辺 けい子（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 共著, [監修: 照井克生, 編集: 松田祐典], 2024年11月, 日本語, さらにワンランク上の産科麻酔に必要なエビデンス, 第2章-4. 非薬物的産痛緩和, 克誠堂出版, 126-140

2. 学術論文

- 1) 総説論文, 筆頭著者・責任著者, 田辺けい子, 2024年11月, 日本語, 無痛分娩 ～助産師の腕が試されるとき!, 査読あり, 分娩と麻酔, 2024 Vol. 106, 45-49

3. その他の著作

- 1) 田辺けい子, 2024年05月, お産を完走するためのお守りバイブル -自然分娩、無痛分娩、帝王切開-, ゼクシィBaby 妊婦のための本 40号, 20-35
- 2) 田辺けい子, 2024年05月, 明日の世界は、私たちの手の中で生まれようとしている～LE MOND E DE DEMAIN NAIT ENTRE NOS MAINS～, 仏映画『助産師たちの夜が明ける（原題 Sages Femmes）』試写会 プレスリリース用資料（パンドラ配給）, 頁番号なし
- 3) 田辺けい子, 2024年08月, 明日の世界は、私たちの手の中で生まれようとしている～LE MOND E DE DEMAIN NAIT ENTRE NOS MAINS～, 仏映画『助産師たちの夜が明ける（原題 Sages Femmes）』公式パンフレット, 18-19
- 4) 田辺けい子, 2024年10月, あるある事例から学ぶ 無痛分娩のあんしんシミュレーション 助産師が押さえておきたいアセスメントと対応のポイント. 〈シーンでわかる分娩時のトラブル対応〉05. 助産師のかかわり（妊娠期）, ペリネイタルケア43巻11号, 32-37
- 5) 田辺けい子, 2024年10月, あるある事例から学ぶ 無痛分娩のあんしんシミュレーション 助産師が押さえておきたいアセスメントと対応のポイント. 〈シーンでわかる分娩時のトラブル対応〉05. 助産師のかかわり（分娩期）, ペリネイタルケア43巻11号, 39-42
- 6) 田辺けい子, 2024年10月, 【動画】自治体保健師が知っておきたい無痛分娩：お母さんからの相談にどう対応したら良いの?, メディカ出版, なし
- 7) 田辺けい子, 2024年11月, 無痛分娩 ～助産師の腕が試されるとき!, 分娩と麻酔106号, 45-49
- 8) 田辺けい子, 2024年11月, お産を完走するためのお守りバイブル -自然分娩、無痛分娩、帝王切開-, ゼクシィBaby 妊婦のための本 43号, 22-35
- 9) 高崎順子、田辺けい子, 2025年01月, 【公開収録対談】 助産師たちの夜は明けるのか?——映画『助産師たちの夜が明ける』を通して出産と助産師の未来を考える 高崎順子さん×田辺けい子さん, 助産雑誌 79巻1号, 60-69
- 10) 田辺けい子, 2024年06月, フランス産科病院における助産現場の視察調査～無痛分娩の実践と課題～, 2024年度（前期） 笹川日仏財団助成金 事業報告書, 45677, 掲載ページは1-20頁ですが、テキストが認識されず「1月20日」となってしまいます。修正をお願いします。

4. 学会発表等

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人 日本母性看護学会, 専任査読委員, 2010. 4. 1～
- 2) 公益社団法人 日本母性衛生学会, 専任査読委員, 2013. 8. 1～
- 3) 公益社団法人 日本母性衛生学会, 幹事（会計担当）, 2013. 8. 1～
- 4) 神奈川母性衛生学会, 査読委員, 2024. 6. 1～
- 5) 一般社団法人日本助産学会, 専任査読委員, 2019. 4. 1～
- 6) 一般社団法人日本産科麻酔学会, 社員, 2021. 12. 1～
- 7) 一般社団法人日本産科麻酔学会, 編集委員, 2021. 12. 1～
- 8) 一般社団法人日本産科麻酔学会, 広報委員, 2021. 12. 1～

6. 社会貢献

- 1) メディカ出版『ペリネイタルケア』誌編集協力委員, 2017. 4. 1～
- 2) 【医学用語字幕翻訳協力】助産師たちの夜が明ける（原題 Sages-femme）配給 Pandora, 2024/6/24
- 3) オープンキャンパス 個別相談担当, 2024/8/3
- 4) 神奈川県立足柄高等学校【高校生向け出張講座】, 2025/3/12

7. 講演，放送

- 1) JBpress: 【無痛分娩後進国】かつては「痛みに苦しんで産んだ」マウントも…人権の観点から広がったフランス、関心が低い日本：なぜ、無痛分娩は日本で普及が遅れてきたのか？田辺けい子・神奈川県立保健福祉大学准教授に聞く．政治経済, 2024年06月
- 2) 日本テレビ、news every.（ニュース エブリイ）、都知事選『防災』『少子化』どうする？、都知事選3候補の「少子化」公約 無痛分娩、格差解消、過密の調整…期待できるのは？「防災」もチェック【#みんなのギモン】 少子化対策「無痛分娩」, 2024/7/2
- 3) 朝日新聞社、朝日デジタル、無痛分娩に「育児できるのかね」の偏見 欠けているのは人権の視点, 2024/7/8
- 4) 朝日新聞 朝刊13面オピニオン、[耕論] 産みの苦しみ神話：無痛は「権利」欠ける視点 田辺けい子さん, 2024/7/10
- 5) 日本テレビ報道局、日テレNEWS: 【無痛分娩】女性の体に負担「人権の問題」私は約30年前から保険適用 国に先駆けて東京都が助成へ…提供体制の課題は？, 2025/1/23
- 6) 日本テレビ報道局、ポッドキャスト【無痛分娩】国に先駆けて東京都が助成へ.. 提供体制の課題は？「痛みを取り除く方法があるなら人権のために進めて, 2025/1/23
- 7) 日本財団、日本財団ジャーナル、広がりつつある無痛分娩という選択肢。正しい知識を医療者に伝える『飛ぶ無痛Café』に無痛分娩の基礎知識を聞いた, 2025/3/6

- 8) 朝日新聞社、朝日デジタル、海外と比べて広がらぬ無痛分娩 「おなかを痛めて…」が映す価値観, 2025年03月
- 9) 無痛分娩に求められる助産師の技、日本大学医学部附属板橋病院, 2024/5/21
- 10) 無痛分娩がわかる！：講義×事例を用いて無痛分娩の基礎知識を学ぶ～Basic knowledge of Epidural anaesthesia delivery with lectures and case studies～、株式会社Private Midwife研修会講師, 2024/5/26
- 11) 無痛分娩について、板橋区健康推進課令和6年度第1回母子保健相談員研修会講師, 2024/6/4
- 12) 無痛分娩に求められる助産師の技、秋葉産婦人科 研修会講師, 2024/7/12
- 13) 麻酔分娩の知と技 ～麻酔分娩を通して助産の普遍性に気づく～、令和6年度鳥取県助産師会教育研修会講師, 2024/8/10
- 14) 無痛分娩に生じやすい異常を回避するためのカラダづくり、日本マタニティフィットネス協会主催ワークショップ 【AC2406-0L】無痛分娩のマタニティフィットネス 講師, 2024/8/26
- 15) 【対談】助産師たちの夜は明けるのか？：映画『助産師たちの夜が明ける』を通して出産と助産師の未来を考える【無料公開収録】、医学書院助産雑誌編集部主催セミナー講師, 2024/8/29
- 16) 無痛分娩～概論と実際の助産ケア～、株式会社Private Midwife 研修会講師, 2024/10/13
- 17) 女性の産む力を引き出す助産ケアを考える 無痛分娩：概論とケア、石川県助産師会研修会講師, 2024/10/27
- 18) 無痛分娩のアセスメントとケア、令和6年度三重県受託事業 助産師（中堅者・指導者）研修 講師, 2024/11/9
- 19) 安全な無痛分娩のための知識、千葉県助産師会勤務助産師部会研修会講師, 2024/12/15
- 20) 無痛分娩における適切な管理、分娩進行を促す助産ケアとアセスメント、聖マリアンナ医科大学病院研修会講師, 2025/2/7
- 21) 無痛分娩の助産 ～妊娠期から産褥期まで～、第73回マタニティフィットネスコンベンション in関東 講師, 2025/2/13
- 22) 海外と比べて広がらぬ無痛分娩 「おなかを痛めて…」が映す価値観, 朝日デジタル、朝日新聞社

8. 学会等での活動

- 1) 無痛分娩への心理的な支援、資格認定研修 Japan Society of Maternal Health Evidence-Based Practitioner講師、日本母性衛生学会, 2023. 12. 23～継続（オンライン研修）
- 2) 無痛分娩の助産 ～基本のキ～、第4回日本産科麻酔学会Webセミナー講師, 2024/7/12
- 3) 多職種でこれからの産科酔・無痛分娩を考える ～助産師の立場から～、第128回日本産科麻酔学会学術集会 シンポジウム4「多職種でこれからの産科酔・無痛分娩を考える」

シンポジスト, 2024/12/1

- 4) 第128回日本産科麻酔学会学術集会 シンポジウム4「多職種でこれからの産科酔・無痛分娩を考える」座長, 2024/12/1
- 5) 無痛分娩に求められる助産とは何か、第38回神奈川母性衛生学会学術集会 シンポジウム「麻酔分娩における助産師による産婦支援の再考」シンポジスト, 2025/2/8
- 6) 麻酔分娩のケア, 第7回日本助産診断実践学会：シンポジウム 麻酔分娩の妊娠期～産褥期のケア（生活支援も含めた現状と工夫と課題）シンポジスト, 2025/3/8

9. 学内教育活動

1) 学部

- 3年前期科目 リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, 2024. 4～9月
- 3年後期科目 リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 2024. 10～2025. 3月
- 4年前期科目 統合実習, 2024. 4～9月
- 4年後期科目 臨床看護応用演習, 2024. 10～2025. 3月
- 4年通年科目 卒業研究, 2024. 4～2025. 3月

2) 博士前期課程

- 1年前期科目 助産診断技術特論Ⅰ, 2024. 4～9月
- 1年前期科目 助産実践演習Ⅰ, 2024. 4～9月
- 1年後期科目 助産母子支援特論, 2024. 10～2025. 3月
- 1年通年科目 助産実践実習, 2024. 4～2025. 3月

10. 学内各種委員会活動

- 1) 全学広報委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) SNSによる学科広報担当, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 看護学科研究科委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 4) ヒューマンサービスセンター国際共同部門ニューカッスル大学, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 笹川日仏財団助成金, 代表者, [田辺けい子], フランス産科病院における助産現場の視察調査～無痛分娩の実践と課題～, 600千円, 2024年01月, 2024年06月
- 2) 2024年度放送大学教育振興会助成金, 代表者, [田辺けい子], 助産師向け応用教育のためのオンライン教材の研究開発【無痛分娩に求められる助産技術】, 1, 162千円, 2024年07月, 2025年03月
- 3) 基盤研究(C), 代表者, [田辺 けい子], 無痛分娩の助産教育プログラム開発：助産技術の高度化とチーム医療の実現, 3, 480千円, 2023年04月, 2027年03月

12. 学内研究助成金の受託

13. 受賞

14. 特許など

15. その他

- 1) 東京慈恵会医科大学大学院医学研究科非常勤講師
- 2) 茨城県立医療大学 助産学専攻科非常勤講師
- 3) 東京医科歯科大学医学部 保健衛生学科非常勤講師
- 4) 神奈川県立衛生看護専門学校助産師学科非常勤講師
- 5) 神奈川県立衛生看護専門学校看護学科非常勤講師

土井 英子（大学院保健福祉学研究科兼務）

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 一般財団法人日本がん看護学会, 査読委員, 2023. 4～
- 2) 一般財団法人日本がん看護学会, 選挙管理委員会, 2024. 1～

6. 社会貢献

- 1) 県立伊志田高等学校分野別説明会, 2024. 6
- 2) オープンキャンパス 個別相談担当, 2024. 8

9. 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅰ，成人看護学（急性期）Ⅱ，成人看護学（急性期）実習，災害看護論，統合実習，卒業研究, 2024. 4～2025. 3

2) 大学院

がん看護学特論Ⅱ，がん看護学演習Ⅰ，がん看護学演習Ⅱ，がん看護学実習Ⅰ，看護課題研究, 2024. 4～2025. 3

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学科学生委員会（4年クラス担任）, 2024. 4～2025. 3
- 2) 国家試験対策担当, 2024. 4～2025. 3
- 3) 進路支援委員, 2024. 4～2025. 3
- 4) 設備・備品担当委員会, 2024. 4～2025. 3
- 5) 看護学教育評価に関するワーキンググループ, 2024. 4～2025. 3

11. 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（C）, 分担者, 野村美香，土井英子，大場美穂, がん検診の受診を支援するリスクコミュニケーショントレーニングプログラムの開発, 400千円, 2023年04月, 2027年03月
- 2) 基盤研究（C）, 分担者, 大場美穂，真田弘美，野村美香，大江真琴，峰松健夫，竹原君江，小林珠実，土井英子. , 透析患者に対するテーラーメイドケアを目指した非侵襲的な皮膚生理機能評価方法の開発, 200千円, 2021年04月, 2025年03月

中山 直子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 中山直子, 医療情報科学研究所（編）, 2024年04月, 日本語, エスチョン・バンク回看
看護師国家試験問題解説2025、別冊 , 在宅での薬物療法、在宅人工呼吸療法、活動制限が必
要な小児の看護, メディックメディア, 155、179-180
- 2) 共著, 中山直子, 岡庭 豊（編）, 2024年04月, 日本語, 看護師・看護学生のためのレビューブ
ック2025 第26版, 地域・在宅看護論：在宅における医療管理, メディックメディア, 在20-2
5

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 筆頭著者・責任著者, 中山直子、佐々木杏子、阿保真由美, 2025年03月,
日本語, 看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標の実態調査からみたカリキュラ
ム評価, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 22巻第1号, 19-28, <https://doi.org/10.15042/0002000145>

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, 中山直子, 蓮井貴子、久保美紀、星 旦二, 性別・世代別にみた
社会経済要因と健康状態および生活満足に関する構造分析, 第83回日本公衆衛生
学会総会抄録集, 2024年10月
- 2) ポスター, 筆頭者, 中山直子、林 直子、森 明子、鈴木久美, AYA世代にある小児がんサバ
イバーへの移行期ケアの実態 -成人診療科で働く看護師を対象として-, 日本看護科学学会
第44回学術集会, 2024年12月
- 3) 口頭, 共同研究者, 蓮井貴子, 中山直子, 赤堀八重子, 沼田誉理, 佐藤美樹, 高本佳代子, VUCA時
代の公衆衛生看護-対話からはじまる地域づくり-, 第13回日本公衆衛生看護学会学術集会,
2025年01月
- 4) ポスター, 共同研究者, 赤堀八重子、中山直子、斉藤基、倉林しのぶ、坪井りえ、武居明美
、黒岩あゆみ, 児童虐待に関わる市町村保健師の実践活動に関する文献レビュー, 第13回日
本公衆衛生看護学会学術集会, 2025年01月
- 5) ポスター, 共同研究者, 林 直子、中山直子、森 明子、鈴木久美, AYA世代にある小児がん
サバイバーへの継続的支援を目的とした看護師向け教材の開発と妥当性評価, 第39回 日
本がん看護学会学術集会, 2025年02月
- 6) 口頭, 共同研究者, 高橋奈津子, 佐藤幹代, 安藤里恵, 米田昭子, 中山直子, 射場 典子, 糖尿
病患者のアドボカシー-糖尿病の呼称変更でスティグマは払拭できるのか-, 第18回日本慢
性看護学会学術集会, 2024年08月

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本健康教育学会，代議員, 2018. 6～
- 2) 日本在宅ケア学会 ガイドライン作成委員会内改訂委員, 改訂委員, 2024. 7. 1～
- 3) 第29回 日本在宅ケア学会学術集会, 実行委員, 2024. 8. 24-25
- 4) 日本公衆衛生学会編集委員会, 査読委員, 2023. 6～
- 5) 日本公衆衛生学会, 代議員, 2023. 7～
- 6) 日本健康教育学会 アドボカシー研究会, 委員, 2025. 1～
- 7) 多摩ニュータウン学会，評議員, 2012. 6～
- 8) NP0法人ハンディキャブゆづり葉, 理事, 2022. 6～
- 9) NPO法人プランB，監事, 2023. 1～
- 10) 横須賀市健康増進横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会, 委員, 2022. 6～

6. 社会貢献

- 1) 川崎幸病院看護部・看護研究支援, 2024. 6. 22～
- 2) 横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会, 2024. 7. 25
- 3) 全国保健師教育機関協議会 教育評価準備委員会委員, 2021. 7. 1～
- 4) オープンキャンパス 個別相談担当, 2024. 8. 3
- 5) 令和6年度神奈川県・市町村保健師の仕事説明会 幹事校, 2024. 8. 26
- 6) NP0法人ハンディキャブゆづり葉：スタッフへのセルフケア支援, 2019. 9～
- 7) よこすか産業フェス2024 健康教育の展示;横須賀市商工会議所, 2024. 10. 19
- 8) うみかぜ祭：まちの保健室 出展：横須賀市保健師、卒業生との交流会と展示, 2024. 11. 3
- 9) ミニオープンキャンパス 個別相談担当, 2025. 3. 25

7. 講演，放送

- 1) 令和6年度健康ざま普及員養成講座 講師, 2024. 4. 12, 19
- 2) 横須賀三浦地区 ゆめクラブ大学 講師, 2024. 09. 24
- 3) 川崎市新任期保健師研修会 講師, 2024. 12. 16

8. 学会等での活動

- 1) 日本健康教育学会 アドボカシー研究会セミナー 講師, 2025. 3. 20
- 2) 日本社会関係学会第5回研究大会 公募パネル5： 良い社会とは？ パネリスト, 2025. 3. 2

9. 学内教育活動

- 1) 学部

地域看護学Ⅰ, 2024. 10
地域看護学Ⅱ, 2024. 5-7
地域看護学実習, 2024. 9
公衆衛生看護学演習Ⅰ, 2024. 4-5
公衆衛生看護学演習Ⅱ, 2024. 4-5
公衆衛生看護学実習, 2024. 7
公衆衛生看護活動論, 2024. 10-2025. 1
産業保健論Ⅰ, 2024. 6
産業保健論Ⅱ, 2024. 7
在宅看護学実習, 2025. 1
統合実習, 2024. 5
卒業研究, 2024. 4-
学校保健論Ⅱ, 2024. 5

10. 学内各種委員会活動

- 1) 衛生委員会, 2021. 8～2025. 3
- 2) 看護領域研究科委員会, 2021. 10～
- 3) 学内実習ステーション運営会議, 2024. 4～

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 分担者, 赤堀八重子, 中山直子他, 児童虐待の支援・連携に関わる保健師活動実践評価尺度およびガイドラインの開発, 100千円, 2024年04月, 2027年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 学科研究費, 分担者, 高橋奈津子、高橋佐和子、佐々木杏子、森朱輝、瀬谷絵莉佳、中山直子, 神奈川県立保健福祉大学保健医療学部看護学科卒業生の動向調査, 200千円, 2024年09月, 2025年03月

15. その他

- 1) 保健医療データ活用のためのSPSS&Amos実践研究会 代表

西名 諒平（大学院保健福祉学研究科兼務）

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) ヒューマンサービス学会, 委員, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) ヒューマンサービス学会, 事務局, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

6. 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 博士前期課程「質的研究法」非常勤講師, 2024. 4. 1～2024. 9. 30
- 2) 東京藝術大学大学院音楽研究科「教育学特殊研究（４）」非常勤講師, 2024. 4. 1～2024. 9. 30
- 3) 神奈川県立市が尾高校 模擬授業, 2024. 5. 13
- 4) ヒューマンサービス公開講座 企画運営, 2024. 5. 25, 2024. 10. 12
- 5) オープンキャンパス 個別相談担当, 2024. 8. 4
- 6) 神奈川県立こども医療センター エキスパートナースコース 研究支援, 2024. 10. 10, 2024. 11. 21, 2025. 2. 3
- 7) Khon Kaen Universityとのオンラインカンファレンスの企画運営補助, 2024. 11. 1, 2024. 11. 2
- 8) University of New Castle看護学生来日時 of 学生間交流支援, 2024. 12. 4
- 9) 静岡県立大学大学院看護学研究科特別講義「GTAを学ぶ」講師, 2025. 2. 7
- 10) 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 老年リハビリテーション・精神看護学 特別講義講師「グラウンデッド・セオリー・アプローチという研究法」, 2025. 2. 22
- 11) 四天王寺大学大学院看護研究科博士後期課程 研究支援, 2025. 3. 1～2025. 3. 31

9. 学内教育活動

1) 保健福祉学部看護学科

- 小児看護学講義（小児看護学Ⅰ・Ⅱ）, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 小児看護技術演習（小児看護学Ⅱ）, 2024. 4. 1～2024. 9. 30
- 小児看護過程事例演習（小児看護学Ⅱ）, 2024. 4. 1～2024. 9. 30
- 小児看護学実習指導（小児看護学実習、統合実習（小児））, 2024. 9. 30～2024. 12. 20
- 卒業研究指導, 2024. 4. 1～2025. 1. 10
- 国際交流演習科目の開講準備（国際看護交流演習, 2025年度開講）, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

2) 保健福祉学研究科看護領域

- 専門看護師養成のための病態生理学に関する授業の運営（病態生理学）, 2024. 4. 1～2024. 9. 30

小児看護専門看護師養成のための講義・演習（小児看護学演習Ⅰ・Ⅱ、小児看護学特論Ⅱ、Ⅲ）
，2024. 4. 1～2025. 3. 31

3) 保健福祉学研究科

質的研究法の基礎に関する授業（研究法Ⅱ） ，2024. 10. 1～2025. 3. 31

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会，委員長，2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) 看護学科教務委員会，委員，2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 看護教育評価ワーキンググループ，2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 4) ヒューマンサービスセンター 地域貢献部門，部門長，2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 5) 5)Khon Kaen Universityとの交流活動ワーキンググループ，2024. 4. 1～2025. 3. 31

11. 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 若手研究，代表者，西名諒平，入院児のきょうだいへの一時預かり支援の確立に向けた質的研究による支援方法の検討，2,470千円，2023年04月，2028年03月

吉田 安子（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者, 吉田安子、杵淵恵美子, 妊娠中絶を経験した日本人女性のセルフスティグマと関連要因, 第52回日本女性心身医学会学術集会, 2024年09月
- 2) 口頭, 共同研究者, 杵淵恵美子、吉田安子, 妊娠中絶に対する日本人女性のスティグマ, 第52回日本女性心身医学会学術集会, 2024年09月
- 3) 口頭, 共同研究者, 大久保美穂、吉田安子, 看護基礎教育課程におけるセクシュアルマイノリティ女性の看護場面を想定した産婦人科問診シミュレーション教育-導入の試みと学習効果の検証-, セクシュアルマイノリティと医療福祉教育を考える全国大会2025, 2025年02月
- 4) 口頭, 筆頭者, 吉田安子、大久保美保, 看護教育におけるLGBTQ+文化的能力向上のための教育プログラムに関する文献レビュー, 日本GI（性別不合）学会第26回研究大会, 2025年03月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 第26回日本母性看護学会一般演題査読委員, 査読委員, 2024. 4. 1～6. 1
- 2) 日本母性看護学会誌, 専任査読委員, 2017. 6. 1～
- 3) 高知女子大学看護学会, 査読委員, 2014. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 学生相談担当, 2024. 8. 3
- 2) EMA看護進学イベント 説明会担当, 2024. 7. 3.
- 3) 川崎市立川崎高等学校1・2年生対象 分野別説明会, 2024. 10. 10
- 4) メディアプラン看護限定進学相談会担当, 2024. 12. 8.
- 5) 市立横須賀総合高等学校1・2年生対象 学校説明会担当, 2025. 3. 10.
- 6) 北鎌倉女子学園中学校・高等学校 中学3年、高校1・2年生学校別進路ガイダンス担当, 2025. 3. 17.
- 7) ミニオープンキャンパス 学生相談担当, 2025. 3. 25

7. 講演, 放送

- 1) 横浜エフエム放送（株）FMブルー湘南、「遊びに来ませんかスタジオへ」「猫がつなぐキャンパスストーリーサバ美の日常一, 2025. 2. 10.

9. 学内教育活動

1) 学部

リプロダクティブ・ヘルスケア I 授業資料作成, 2024. 10～12

リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ授業概要、シミュレーション教育プログラム作成, 2024. 4～7, 科目担当者

卒業研究：学生支援活動, 2024. 4～2025. 3

統合実習：学生支援活動, 2024. 4～6

リプロダクティブ・ヘルスケア実習実習指導, 2024. 11～12

2) 博士前期課程

助産診断技術論Ⅱ , 2024. 4～6, 科目担当者

助産学特論演習Ⅰ 研究指導, 2024. 4～2025. 3

助産実践実習 臨床実習指導担当, 2024. 6～8

助産診断技術特論Ⅲ ディスカッション教材作成, 2024. 10

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 30, 科目調整会議運営担当
- 2) 学科学生委員会・3年生担当, 2024. 4. 1～2025. 3. 30, 3年生担当リーダー
- 3) 学科学生委員会進路支援担当, 2024. 4. 1～2025. 3. 30
- 4) アドミッションセンター運営会議・入試広報WG , 2024. 4. 1～2025. 3. 30
- 5) 看護領域研究科委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 30

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 代表者, 吉田安子, LGBTQ+の健康課題に関する看護教育プログラムの開発, 3,000千円, 2022年04月, 2027年03月

15. その他

- 1) ニューカッスル大学スタディーツアー講義参加者受け入れ、12月3日

渡邊 恵 （大学院保健福祉学研究科兼務）

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 筆頭著者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 岸川 学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝, 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子. , 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果 : パイロットスタディ. , 査読あり, 保健医療福祉連携誌, 2024 Vol. 17 (2) , 127-137, 10. 32217/jaibe. 17. 2_146
- 2) 原著論文, 筆頭著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川学, 森朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPE の実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, 渡邊恵, 看護学生の「情動知能 (Emotional Intelligence : EI)」と実践能力に焦点をあてた教育介入研究の動向と課題 : 文献レビュー. , 日本看護技術学会第22回学術集会, 2024年10月
- 2) 口頭, 共同研究者, 甲地里咲, 渡邊 恵. , 卒後1年目の臨床現場で取り組んだヒューマンサービスの実現のための看護実践. , 第2回ヒューマンサービス学会学術集会, 2024年11月
- 3) ポスター, 共同研究者, 飯岡由紀子, 杉本知子, 辻恵子, 大場良子, 西村宣子, 渡邊 恵, 廣田千穂. , 看護職の調整力向上プログラムの実行可能性と効果の検討 : パイロットスタディ. , 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護学教育学会, 編集委員, 2024. 7～

6. 社会貢献

- 1) 神奈川県立鎌倉高等学校 1年生対象 系統・分野別進路相談会 出張講義, 2024. 6. 4
- 2) 看護学科オープンキャンパス キャンパスツアー担当, 2024. 8. 3
- 3) 研修会「対人関係とコミュニケーション入門講座」企画・運営, 2024. 12. 14

7. 講演, 放送

- 1) 学内研究発表会（渡邊恵代表） 教育用模擬電子カルテでの情報共有を基盤とした教育実践報告—これからの保健医療福祉を担う学生の学びと看護実践能力の検討—, 2025. 3. 7

- 2) 学内研究発表会（渡邊恵代表） 2年次看護学生の情動知能（Emotional Intelligence）の変化と学びの様相にみる教育方法の一考察, 2025. 3. 7
- 3) 学内研究発表会（佐々木杏子代表） 実習前の地域住民参加型演習に関する実践報告—演習に参加した地域住民ボランティアの満足度と今後に向けた課題—, 2025. 3. 7
- 4) 学内研究発表会（黒河内仙奈代表） 地域特性を反映した領域横断型学習教材うみかぜラーニングマップ, 2025. 3. 7

8. 学会等での活動

- 1) 日本看護学教育学会第34回学術集会 交流集会「教育用模擬電子カルテを用いてチームで連携・協働する力を育む～IPEを通した看護実践能力の強化～」, 2024. 8. 19, 渡邊 恵, 長島俊輔, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 水戸優子.

9. 学内教育活動

1) 学部

模擬電子カルテの事例を用いた講義・演習展開と他学科の授業支援（看護技術論Ⅱ、Ⅲ、ヒューマンサービス総合演習等）, 2024. 4～2025. 2

モデル人形等を用いた体験型演習の実施（看護技術論Ⅰ、Ⅱ）, 2024. 4～2025. 1

事故分析結果に基づく医療安全教育の実施（看護技術論Ⅲ）, 2024. 10

地域住民参加型演習の運営（看護技術論Ⅰ）, 2024. 11

実習施設の看護師参加型ユニフィケーション演習の運営（看護技術論Ⅰ）, 2024. 11

多重課題型、状況設定型技術試験の実施（看護技術論Ⅰ、Ⅱ、ヘルスアセスメント論）, 2024. 7～2025. 1

基礎看護学実習の指導、事前・事後学習支援（基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）, 2024. 4～2025. 2

統合実習計画の支援と実習指導, 2024. 4～2024. 7

卒業研究指導, 2024. 4～2025. 1

チアリーディングサークル顧問, 2024. 4～2025. 3.

2) 博士前期課程

大学院（博士前期課程）看護領域 基礎看護学の学習支援（基礎看護学演習、基礎看護学特論）, 2024. 4～2025. 3.

大学院（博士前期課程）看護領域 看護教育学の研究指導（看護学特別研究）, 2024. 4～2025. 3

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学部FD・SD委員（看護学科FD・SD委員長）, 2024. 4～2025. 3
- 2) JABNE看護学教育評価ワーキング, 2024. 4～2025. 3

- 3) 看護領域研究科委員会, 2024. 4～2025. 3
- 4) 「うみかぜ祭」支援, 2024. 11

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B（奨励研究）, 代表者, 渡邊恵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 長島俊輔, 森朱輝, 水戸優子., 情動知能の可視化による学習効果と教育方法の一考察 ―2年次看護学生の縦断調査より―, 310千円, 2024年07月, 2025年03月
- 2) 研究助成 A（協働研究）, 分担者, 黒河内仙奈, 長島俊輔, 渡邊 恵, 末田千恵, 岸川学, 池田公平, 樋口良子, 福岡梨紗, 田中和美., 地域特性を反映した領域横断型学習教材を用いた授業の展開と評価―学生と教材作成に参加した地域住民への効果の評価―, 429千円, 2024年05月, 2025年03月

安藤 里恵 (大学院保健福祉学研究科兼務)

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者, 安藤里恵, 白水真理子, 間瀬由記, 奥井涼子, 中原慎二, 成人期にある2型糖尿病をもつ就労者が受診中断を思いとどまった経験, 第29回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2024年09月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本糖尿病教育・看護学会, 専任査読者, 2024. 9. 1～
- 2) ヒューマンサービス学会第2回学術集会, 企画委員・実行委員, 2024. 1. 18～12. 25.

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, 看護学科実習室展示コーナー担当, 2024. 8. 3
- 2)

9. 学内教育活動

1) 学部

成人看護学(慢性期) I グループワークの運営, 2024. 1
成人看護学(慢性期) II 視聴覚教材の作成, 2024. 4～7
成人看護学(慢性期) II PBL運営・チューター, 2024. 4～7
成人看護学(慢性期)実習科目責任者、実習施設との調整、実習指導, 2024. 7～12
統合実習実習施設との調整、実習指導, 2024. 4～6
卒業研究学生指導4名, 2024. 4～2025. 1
臨床看護応用演習授業資料の作成, 2024. 10
リハビリテーション看護シラバス作成、担当者の調整, 2024. 9～12

2) 博士前期課程

看護倫理授業補助, 2024. 4～7
慢性看護CNSコース新設に向けたシラバスの作成, 2024. 4～2025. 3

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) 看護学科FD委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 時間割ワーキンググループ, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 代表者, 安藤里恵, 奥井涼子, 間瀬由記, 中原慎二, 2型糖尿病患者のための
受診中断予防看護モデルと療養支援ツールの開発, 4, 991千円, 2023年04月, 2025年03月

佐々木 杏子（大学院保健福祉学研究科兼務）

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 共著者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 岸川 学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝, 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子, 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果 : パイロットスタディ, 査読あり, 保健医療福祉連携誌, 2024 17(2), 127-137, 10.32217/jaipe.17.2_146
- 2) 原著論文, 共著者, Kohei Kambara, Akihiro Toya, Sumin Lee, . . . , Kyoko Sasaki, . . . , Kenichiro Nakashima, 2024年12月, 英語, Can Online Interactions Reduce Loneliness in Young Adults During University Closures in Japan? The Directed Acyclic Graphs (DAG) Approach, 査読あり, Asian Journal of Social Psychology, 2024 28(1) , 10.1111/ajsp.12658
- 3) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Kyoko SASAKI, Nobuko OKUBO, 2025年03月, 英語, Personal and organizational factors related to continued adoption of the sitting position without back support technique in acute care hospitals , 査読あり, Japanese Academy of Neuroscience Nursing, 2024 10(1)
- 4) その他（報告等）, 共著者, 中山直子, 佐々木杏子, 阿保真由美, 2025年03月, 日本語, 看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標の実態調査からみたカリキュラム調査, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 2024 21(1), 19-28
- 5) その他（報告等）, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, . . . , 佐々木杏子 . . . , 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPEの実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 2, 44-52

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, 佐々木杏子, 大久保暢子, 急性期病院における背面開放座位導入後の継続に関連する個人的・組織的要因, 日本看護技術学会22回学術集会, 2024年10月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 看護人間工学会, 評議員, 2019. 6～
- 2) 日本看護技術学会, 評議員、査読委員、技術成果検討委員会委員, 2024. 8～
- 3) 日本看護技術学会, 技術研究成果検討委員会, 2024. 8～

6. 社会貢献

- 1) 神奈川県立生田高等学校 出張講義, 2024. 7

- 2) 県立高校生学習活動コンソーシアム出張講義（神奈川県立舞岡高等学校）, 2024. 8
- 3) オープンキャンパス 企画委員, 2024. 8
- 4) ミニオープンキャンパス 企画委員, 2025. 3

8. 学会等での活動

- 1) 日本看護技術学会第22回学術集会 座長, 2024. 10. 27

9. 学内教育活動

1) 学部

- 看護技術論Ⅰにおける講義・日常生活援助技術に関する演習指導, 2024. 10～2025. 2
- 看護技術論Ⅰにおける地域住民参加型演習の企画・ボランティア募集・当日運営, 2024. 7～2024. 12
- 看護技術論Ⅰにおける臨床看護師参加型ユニフィケーション演習の企画・募集・運営, 2024. 8～2024. 12
- 看護技術論Ⅱにおける講義・診療の補助技術に関する演習指導, 2024. 4～2024. 7
- 実習指導（基礎看護学実習Ⅰ・基礎看護学実習Ⅱ・基礎看護学実習Ⅲ）、事前・事後学習支援, 2024. 9. 9～2025. 2. 21
- 看護技術論Ⅲにおける課題発表会の運営, 2025. 1. 7
- ヘルスアセスメント論における技術試験監督, 2024. 11. 15
- 問題に基づく学習法（PBL）演習におけるチューター, 2024. 5
- 卒業研究指導, 2024. 4～2025. 1
- 統合実習計画書作成支援と実習指導, 2024. 4～2024. 7
- ハンドボール部顧問, 2024. 4～2025. 3

2) 実践教育センター

- セカンドレベル 現象の概念化Ⅱにおける「文献検索・クリティーク・論文の書き方」講義・演習発表会, 2024. 5～2024. 7

3) 博士前期課程

- 大学院（博士前期課程）科目 基礎看護学特論、基礎看護学演習, 2024. 4～2025. 3

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科学生委員会（1年生担任）, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) オープンキャンパス委員, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

11. 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（B）, 分担者, 桑本暢子, 南川貴子, 百田武司, 武田保江, 小林由紀恵, 田村綾子

，佐々木杏子, 重度脳卒中患者に対する家族参加型背面開放座位ケアプログラムの構築と評価, 4, 160千円, 2023. 4. 1, 2026. 3. 31

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B（奨励研究）, 分担者, 渡邊恵, 水戸優子, 佐々木杏子, 他3名, 情動知能の可視化による学習効果と教育方法の一考察 ―2年次看護学生の縦断調査より―, 310千円, 2024. 4. 1, 2025. 3. 31
- 2) 学科研究費, 分担者, 高橋佐和子, 瀬谷絵莉佳, 佐々木杏子, 他3名, 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科卒業生の動向調査, 200千円, 2024. 4. 1, 2025. 3. 31

末田 千恵 （大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 狛江市介護保険推進市民協議会, 委員, 2003. 11. 1～
- 2) 狛江市高齢小委員会, 委員, 2015. 11. 1～
- 3) 大磯町高齢者福祉計画策定委員会, 委員, 2017. 4. 1～
- 4) 藤沢市介護認定審査会, 委員, 2017. 4. 1～
- 5) 第27回 日本在宅ホスピス協会全国大会 in葉山, 実行委員, 2024. 7. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス キャンパスツアー, 2024. 8. 4

7. 講演，放送

- 1) NHK総合「首都圏ネットワーク」『ひとりでも最後まで自宅で「在宅みとり」のいま』, 2024. 4. 4
- 2) 逗子市「ファミリー・サポート・センター研修会」講師, 2024. 6. 26
- 3) 逗子市「ファミリー・サポート・センター研修会」講師, 2024. 11. 2
- 4) 三浦市「ファミリー・サポート・センター研修会」講師, 2024. 11. 14
- 5) 学内研究発表会，地域特性を反映した領域横断型学習教材の開発，黒河内仙奈，末田千恵，渡邊恵，長島俊輔，岸川学，福岡梨紗，池田公平，樋口良子，2025. 3. 7

9. 学内教育活動

1) 学部

在宅看護学Ⅰ, 2024. 4
在宅看護学Ⅱ, 2024. 4
統合実習, 2024. 5
問題に基づく学習（PBL）, 2024. 5
統合実習, 2024. 5
在宅看護学実習, 2025. 1

2) 博士前期課程

がん看護学特論Ⅳ，2024. 11

3) 実践教育センター

教員・教員担当者養成課程看護コース看護教育課程論（地域・在宅看護論），2024. 6

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学科教務委員会, 2024. 4～2025. 3
- 2) 学科学生委員会, 2024. 4～2025. 3
- 3) チューター, 2024. 4～2025. 3

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C), 代表者, 末田千恵, 黒河内仙奈, 河原智江, 在宅看取り支援におけるケアマネジャーの自己評価尺度とスキルアップ支援ツールの開発, 3, 100千円, 2022年04月, 2026年03月
- 2) 基盤研究 (C), 分担者, 山下真裕子, 末田千恵, 中村英輝, ストレngth強化型の精神障害者雇用促進モデルの開発, 4, 680千円, 2024年04月, 2028年03月
- 3) 基盤研究 (C), 分担者, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 島津尚子, 小河原格也, 末田千恵, 脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発, 4, 160千円, 2020年04月, 2025年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 A (協働研究), 分担者, 黒河内仙奈, 岸川学, 池田公平, 末田千恵ほか4名, 地域特性を反映した領域横断型学習教材を用いた授業の展開と評価ー学生と教材作成に参加した地域住民への効果の評価ー, 429千円, 2024年05月, 2025年03月

長島 俊輔（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 共著者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 岸川 学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝, 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子, 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果 : パイロットスタディ, 査読あり, 保健医療福祉連携誌, 2024 Vol. 17 (2), 127-137, 10.32217/jaipe.17.2_146
- 2) 原著論文, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川学, 森朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPE の実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52, なし

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者, 長島俊輔, 森朱輝, 細谷陽, 水戸優子, Augmented Reality技術を活用した看護技術教材の教育的効果の検証, 第6回 看護人間工学会 学術集会, 2024年09月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護技術学会, 研究活動推進委員, 2024. 4. 1～
- 2) 日本看護技術学会, 専任査読員, 2024. 4. 1～
- 3) 日本看護学教育学会, 編集委員, 2024. 8. 1～
- 4) 日本看護学教育学会, 未来の看護を創る次世代教育チーム・チームリーダー, 2025. 1. 1～

6. 社会貢献

- 1) ジョブボンプロジェクト, 2024. 4. 1～, 障がい者雇用創出を目的とした古本回収事業において、ブックポストの設置と管理
- 2) オープンキャンパス 実習室担当, 2024. 8. 4
- 3) ニューカッスル大学との交流企画, 2024. 12. 4

7. 講演, 放送

- 1) FMブルー湘南 (78.5MHz) 遊びに来ませんかスタジオへ、「これであなたも快眠に? 睡眠と体内時計のお話し」, 2024. 5. 13
- 2) かまくらシニア健康大学、「シニア世代の睡眠を知る～体内時計の整え方～」, 2024. 6. 25
- 3) 学内研究発表会（渡邊恵代表） 教育用模擬電子カルテでの情報共有を基盤とした教育実践

報告—これからの保健医療福祉を担う学生の学びと看護実践能力の検討—, 2025. 3. 7

- 4) 学内研究発表会（渡邊恵代表） 2年次看護学生の情動知能（Emotional Intelligence）の変化と学びの様相にみる教育方法の一考察, 2025. 3. 7
- 5) 学内研究発表会（佐々木杏子代表） 実習前の地域住民参加型演習に関する実践報告—演習に参加した地域住民ボランティアの満足度と今後に向けた課題—, 2025. 3. 7
- 6) 学内研究発表会（黒河内仙奈代表） 地域特性を反映した領域横断型学習教材うみかぜラーニングマップ, 2025. 3. 7

8. 学会等での活動

- 1) 日本看護学教育学会第34回学術集会 交流集会「教育用模擬電子カルテを用いてチームで連携・協働する力を育む～IPEを通した看護実践能力の強化～」, 2024. 8. 19
- 2) 日本看護技術学会第22回学術集会 交流セッション「第6回若手の会 若手研究者交流の場～あなたの悩みはみんなの悩み、統計を学べるカフェテリアへようこそ～」, 2024. 10. 25
- 3) 第6回看護人間工学会学術集会 ハイブリッド配信の支援, 2024. 9. 14
- 4) 日本看護学教育学会 倫理委員会主催「看護学教育における倫理を考えるセミナー」ウェビナー配信の支援, 2025. 1. 14

9. 学内教育活動

1) 学部

モデル人形等を用いた体験型看護技術演習（看護技術論Ⅰ・Ⅱ）, 2024. 4～2025. 3

教育用模擬電子カルテを活用した看護技術演習、看護過程演習（看護技術論Ⅱ・Ⅲ）, 2024. 4～2025. 3

多重課題型・状況設定型技術試験（看護技術論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント論）, 2024. 4～2025. 3

地域住民参加型演習の運営（看護技術論Ⅰ）, 2024. 11

実習施設の看護師参加型ユニフィケーション演習の運営（看護技術論Ⅰ）, 2024. 11

臨地実習指導（基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅲ、統合実習）, 2024. 4～2025. 3

統合実習計画書作成の指導（統合実習）, 2024. 4～2024. 5

文献検索・クリティーク指導、プレゼンテーション指導（卒業研究）, 2024. 4～2025. 1

アカデミックライティング・アカデミックプレゼンテーションの指導（Academic Writing補講）, 2024. 9～2025. 2

2) 博士前期課程

国際交流を目的とした演習の計画（国際看護交流演習）, 2024. 4～2025. 3

10. 学内各種委員会活動

- 1) 全学図書委員会, 2024. 4～2025. 3
- 2) 看護学科実習委員会, 2024. 4～2025. 3
- 3) JABNE看護学教育評価ワーキング, 2024. 4～2025. 3
- 4) 看護領域研究科委員会, 2024. 4～2025. 3

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 若手研究, 代表者, 長島俊輔, 視覚と聴覚による新しい点滴流量調整方法の検証と開発, 3, 900千円, 2023年04月, 2026年03月
- 2) 基盤研究 (C), 分担者, 加藤木真史 (研究代表者), 加藤京里, 栗田愛, 菅原啓太, 長島俊輔, 2週間の排便日誌から排便パターンを分類する新しい看護アセスメント方法の確立, 4, 030千円, 2022年04月, 2026年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究), 分担者, 渡邊恵, 加藤木真史, 佐々木杏子ほか3名, 情動知能の可視化による学習効果と教育方法の一考察 ―2年次看護学生の縦断調査より―, 310千円, 2024年07月, 2025年03月
- 2) 研究助成 A (協働研究), 分担者, 黒河内仙奈, 岸川学, 池田公平 ほか5名, 地域特性を反映した領域横断型学習教材を用いた授業の展開と評価―学生と教材作成に参加した地域住民への効果の評価―, 429千円, 2024年05月, 2025年03月

森本 淳子（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 大河内敦子, 森本淳子, 兒玉善明, 藏本綾, 若手教員がキャリアを積み上げていくことについて共に考え、創造の一步を踏み出すー教育・研究・社会貢献の視点からー, 日本精神保健看護学会第34回学術集会, 2024年06月
- 2) ポスター, 筆頭者・責任者, 森本淳子, メンタルヘルス不調を抱える母親のための看護職によるグループ支援に関する文献レビュー, 日本看護研究学会第50回学術集会, 2024年08月
- 3) ポスター, 共同研究者, 細谷陽, 吉田光爾, 田中有紀, 水野高昌, 大河内 敦子, 栄セツコ, 森本淳子, 榊恵子, COVID-19感染拡大下で地域生活を送る精神障害者に対する専門職支援の特徴と地域連携支援の実態, 日本精神障害者リハビリテーション学会第31回東京お台場大会, 2024年12月

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス委員, 2023. 4. 1～
- 2) メンタルヘルス不調を抱える母親のためのサポートグループ「ほっとひといきひろば」企画者, 2021. 4. 1～

7. 講演, 放送

- 1) 神奈川県立精神医療センターステップIV看護研究研修 講師, 2024. 5. 17

8. 学会等での活動

- 1) 一般財団法人日本家族看護学会第31回学術集会 実行委員, 2024. 1 ～2024. 9. 15

9. 学内教育活動

- 1) 保健福祉学部 看護学科
 - 心のしくみ, 2024. 10～2025. 3
 - 精神保健看護学Ⅰ, 2024. 10～2025. 3
 - 精神保健看護学Ⅱ, 2024. 4～2024. 9
 - 統合実習, 2024. 4～2024. 9
 - 精神保健看護学実習, 2024. 10～2025. 3
 - 卒業研究, 2024. 4～2025. 3

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

- 2) 看護学科オープンキャンパス委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 看護学科学生委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 4) 看護学科3年生クラス担当, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 5) 看護学科進路支援担当, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 6) 看護領域研究科委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 分担者, 榊恵子, 吉田光爾, 栄セツコ, 水野高昌, 大河内敦子, 田中有紀, 細谷陽, 森本淳子, COVID-19感染症拡大下での精神障害者のための地域多職種連携支援モデルの開発, 3, 250千円, 2022年04月, 2025年03月

後藤 雅子

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者, 後藤雅子, 李剣, 2024年04月, 日本語, 医療的ケア児にかかわる訪問看護師のリソースの要素に関する文献, 査読あり, 日本健康医学会雑誌, 2024Vol. 33(1), 91-97, 10.20685/kenkouigaku.33.1_98
- 2) 原著論文, 筆頭著者, 後藤雅子, 李剣, 2024年12月, 日本語, 重症心身障がい児に関わる訪問看護師のリソース, 査読あり, 日本重症心身障害学会誌, 2024Vol. 49(3), 475-483

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 李剣, 後藤雅子, The Impact on Hospitalized Children and Their Families During the COVID-19 Pandemic-From the Perspective of Nurses-, ICNH 2024. 7 Xi' an, China, 2024年07月
- 2) 口頭, 筆頭者, 後藤雅子, LTDを応用した読書会の実践報告, 日本協同教育学会 (JASCE) 第20回大会, 2024年10月
- 3) 口頭, 筆頭者, 後藤雅子, 野崎邦子, 白根奈巳, LTD-NPを用いた統合実習の社会的相互作用の促進ー実習後のアンケートについての検討ー, 日本協同教育学会 (JASCE) 第20回大会, 2024年10月
- 4) ポスター, 筆頭者, 後藤雅子, 李剣, 訪問看護師と重症心身障害児者の社会的相互作用のプロセスについての文献レビュー, 第49回日本重症心身障害学会学術集会, 2024年11月

6. 社会貢献

- 1) 社会福祉法人みなと舎, 重症心身障害児者の看護支援・研究活動, 2022. 10～
- 2) 神奈川県立平塚江南高等学校 高校生向け出張講座担当 (2年生), 2024. 7
- 3) オープンキャンパス 実習室A担当, 2024. 8
- 4) 在宅ケア学会 当日ボランティア, 2024. 8

9. 学内教育活動

1) 学部

- 在宅看護学Ⅰ 授業サポート, 2024. 4
- 在宅看護学Ⅱ (5/10～6/3) 授業サポート, 2024. 5
- 在宅看護学Ⅱ 在宅で療養する認知症者のケア講義教材作成, 2024. 5
- 統合実習 (在宅看護学) 実習指導, 2024. 5-2024. 6
- 統合実習 (学校保健) 実習指導, 2024. 6-2024. 7
- 卒業研究 (在宅看護学), 2024. 4-2025. 1

学校保健論Ⅱ 授業準備サポート, 2024. 4-2024. 6
学校保健論Ⅰ 授業準備サポート, 2024. 10-2024. 12
地域看護学実習 実習指導, 2024. 9
保健医療福祉論Ⅰ 応援教員, 2024. 8
在宅看護学実習 実習指導, 2025. 1-2025. 2

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学科実習委員会, 2023. 4～
- 2) 学科学生委員会 クラス担任, 2023. 4～
- 3) 研究委員会の動物実験専門部会, 2023. 4～
- 4) チューター担当, 2023. 4～
- 5) 入学式式典担当（受付業務）, 2024. 4
- 6) 領域における在宅・学校保健領域の予算管理, 2019. 4～
- 7) 後期助教連絡係, 2024. 10～
- 8) 卒業式運営担当者, 2024. 10～

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B（奨励研究）, 代表者, 後藤雅子, 訪問看護師と重症児の社会的相互作用のプロセスに関する文献検討, 160千円, 2024年04月, 2025年03月

星 美鈴

2. 学術論文

- 1) その他（報告等）, 筆頭著者・責任著者, 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 2025年03月, 日本語, 高齢者看護学におけるジグソー学習法を用いた看護技術演習の実践報告, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 第22巻第1号, 41-52

3. その他の著作

- 1) 星美鈴, 2024年07月, 【患者の暮らしに寄り添える病棟スタッフの育成法と他施設との連携強化のコツ 地域包括ケア時代に求められる病棟のつくり方】(Part1)地域包括ケア時代において看護職に必要な知識 6. 地域にいる高齢者の看取り, 看護展望, 49巻9号, 821-826

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 高齢者看護学におけるジグソー法を用いた看護師との共同による看護技術演習に対する学生の評価, 日本看護学教育学会第34回学術集会, 2024年08月
- 2) ポスター, 共同研究者, 黒河内仙奈, 星美鈴, 間瀬由記, 地域在住高齢者参加型演習における看護学生のコミュニケーションへの気づきと課題, 日本看護学教育学会第34回学術集会, 2024年08月
- 3) ポスター, 共同研究者, Mana DOI, Maya MINAMIZAKI, Misuzu HOSHI, Rina SATO, Yan LIU, Yukiko NISHIYAMA, Basic education in geriatric nursing for aging societies: a scoping review, 15th INC & 28th EAFONS 2025, 2025年02月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本運動器看護学会, 研究支援委員会, 2024. 4. 1～
- 2) 一般社団法人日本老年看護学会, 老年看護政策検討委員会, 2024. 7. 20～
- 3) ヒューマンサービス学会, 第2回学術集会企画委員, 2024. 10. 16～2024. 11. 30

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 実習室展示担当, 2024. 8. 3
- 2) うみかぜ祭 看護学科企画担当, 2024. 11. 5

9. 学内教育活動

- 1) 学部
高齢者看護学 I, 2024. 5～2024. 7

高齢者看護学Ⅱ, 2024. 10～2024. 12

高齢者看護学実習, 2025. 1～2025. 2

成人看護学（慢性期）実習, 2024. 9～2024. 10

統合実習（高齢者看護学領域）, 2024. 5～2024. 6

卒業研究, 2024. 4～2025. 1

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習員会, 2024. 4～2025. 3
- 2) 設備・備品担当委員会, 2024. 4～2025. 3
- 3) チューター, 2024. 4～2025. 3

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（C）, 代表者, 星美鈴, 叶谷由佳, 土肥真奈, 高齢者の生活を支える看護職による地域包括ケアコンピテンシー尺度の開発, 3, 600千円, 2023年04月, 2026年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B（奨励研究）, 代表者, 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 大学における認知症カフェプログラムの構築－試案の作成・実施と地域住民への効果の評価－, 140千円, 2024年04月, 2025年03月

鈴木翼 （大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者, 鈴木翼、谷口千絵、川名るり, 高度実践看護師の実践範囲の拡大に伴う臨床的スキル獲得の教育プログラムに関する文献検討, 日本看護科学学会第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 実習室C展示担当, 2024. 8. 3

7. 講演, 放送

- 1) リトル学園宙保育園 保育園児・保育士・看護師医療研修会講師「手洗い・鼻嚙み講習」, 2025. 2. 27

8. 学会等での活動

- 1) 日本小児看護学会教育委員会小児看護スキルアップ研修「医療依存度の高い子どもと家族の看護コース」 事例演習集合研修のグループワークファシリテーター, 2024. 12. 8

9. 学内教育活動

1) 学部

- 小児看護学Ⅰ 授業運営、講義, 2024. 9～2025. 3
- 小児看護学Ⅱ 授業運営、講義、技術演習, 2024. 4～7
- ステップⅡ小児看護学実習 実習指導, 2024. 9～12
- 統合実習 小児看護学領域実習指導, 2024. 4～6
- 卒業研究 研究指導, 2024. 4～2025. 3
- 臨床看護応用演習 講義, 2024. 12

2) 博士前期課程

- フィジカルアセスメントの第12回・13回の「小児のフィジカルアセスメント（1）（2）」演習担当, 2024. 7
- 小児看護学実習Ⅰ 学生支援、授業準備, 2024. 4 ～
- 小児看護学演習Ⅱ 学生支援、授業準備, 2024. 4～

10. 学内各種委員会活動

- 1) 設備・備品委員会, 2022. 10
- 2) 学科学生委員会, 2023. 4

- 3) 国家試験対策係, 2024. 4
- 4) 進路支援係, 2023. 4
- 5) 入学式・卒業式実行委員, 2023. 11

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 分担者, 谷口千絵, 川名るり, 鈴木翼, 助産師と小児看護専門看護師の実践能力の共有－母子の看護の向上をめざした専門性の拡充, 2, 240千円, 2022年04月, 2026年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 学科研究費, 代表者, 鈴木翼, 川名るり, 小児看護学実習における児童精神科病棟実習での学生の体験, 200千円, 2024年07月, 2026年03月

細谷 陽

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 長島俊輔, 森朱輝, 細谷陽, 水戸優子, Augmented Reality技術を活用した看護技術教材の教育的効果の検証, 第6回看護人間工学会学術集会, 2024年09月
- 2) ポスター, 筆頭者, 細谷陽, 吉田光爾, 田中有紀, 水野高昌, 大河内敦子, 栄セツコ, 森本淳子, 榊恵子, COVID-19感染拡大下で地域生活を送る精神障害者に対する専門職支援の特徴と地域連携支援の実態, 日本精神障害者リハビリテーション学会第31回東京お台場大会, 2024年12月

6. 社会貢献

- 1) 看護学科実習連絡会のプログラムにおける発表「看護学実習における『心理的安全性』を考えるー精神看護学実習を例にしてー」, 2024. 4. 26
- 2) 看護学科オープンキャンパス 実習室展示担当, 2024. 8. 4
- 3) 公益財団法人積善会曽我病院・令和6年度研究発表会における研究講評, 2025. 2. 21

8. 学会等での活動

- 1) 日本家族看護学会第31回学術集会 当日実行委員, 2024. 9. 14～9. 15

9. 学内教育活動

1) 学部

精神保健看護学Ⅱ 講義「地域ケアとリハビリテーション」講義資料の作成 双方向型授業の実施, 2024. 4

精神保健看護学Ⅱ 演習「地域生活と看護」準備と実施 動画教材の選定 知識の外化を意識したワークの準備と実施, 2024. 5

精神保健看護学Ⅱ 演習「リラクセーション」準備と実施, 2024. 5

精神保健看護学Ⅱ 講義「疾患と看護2) 統合失調症」講義資料の作成 双方向型授業の実施, 2024. 5

精神保健看護学Ⅱ 講義「疾患と看護3) アルコール依存症」講義資料の作成 双方向型授業の実施, 2024. 5

精神保健看護学Ⅱ 演習「看護記録の方法①②」講義資料の作成 知識の外化を意識したグループワークの実施, 2024. 6

精神保健看護学Ⅱ 演習「看護記録の方法③」の準備と実施, 2024. 6

心のしくみ 演習「身体感覚を磨く」準備と実施 知識の外化を意識した課題の準備と実施, 2024. 10

臨床看護応用演習「対応困難な患者や家族への援助」準備と実施 演習教材の作成 知識の外化を意識したグループワークの準備と実施, 2024. 11

精神保健看護学Ⅰ 講義「精神医療と看護の歴史」講義資料の作成 双方向型授業の実施, 2024. 12

精神保健看護学Ⅰ 演習「家族の心と回復」準備と実施 動画教材の選定 知識の外化を意識したグループワークの準備と実施, 2025. 1

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) 看護学科設備備品委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 令和6年度卒業式・修了式、令和7年度入学式実行委員, 2025. 3. 1～2025. 4. 2

瀬谷絵莉佳（大学院保健福祉学研究科兼務）

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, 瀬谷絵莉佳, 胎児機能不全のために緊急帝王切開となる産婦を受け持つ助産学生を担当する実習指導助産師の思考, 日本母性衛生学会第65回学術集会, 2024年10月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人 日本母性衛生学会, 広報渉外担当幹事, 2023. 10. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 当日運営担当, 2024. 8. 4
- 2) ニューカッスル大学スタディーツアー 当日運営補助, 2024. 12. 3
- 3) 横浜市立永田小学校「いのちの学習」講師, 2025. 2. 3
- 4) 横須賀市立坂本中学校「いのちの授業」教育媒体貸し出し窓口, 2023. 12. 5～
- 5) 横須賀市立衣笠中学校「いのちの授業」教育媒体貸し出し窓口, 2024. 5. 10～

8. 学会等での活動

- 1) 第2回ヒューマンサービス学会 実行委員, 2024. 11. 16
- 2) 第65回 日本母性衛生学会 ポスターセッション座長, 2024. 10. 19
- 3) 第66回 日本母性衛生学会 査読委員, 2024. 5. 17～2024. 5. 29

9. 学内教育活動

1) 学部

リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, 2024. 4～2024. 9
統合実習, 2024. 4～2024. 9
卒業研究, 2024. 4～2025. 3
リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 2024. 9～2025. 3

2) 博士前期課程

助産実践演習Ⅰ, 2024. 4～2024. 9
助産実践実習, 2024. 4～2025. 3
助産診断技術特論Ⅱ, 2024. 4～2024. 9

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学科実習委員会, 2021. 4. 1～

- 2) 設備・備品担当委員会, 2022. 4. 1～
- 3) 学科学生委員会, 2023. 4. 1～
- 4) 看護学科研究科委員会, 2024. 4. 1～

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 2024年度看護学科共同研究助成, 代表者, 瀬谷絵莉佳, 佐々木杏子, 高橋佐和子ほか3名, 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科卒業生の動向調査, 200千円, 2024年04月, 2025年03月, 助成の代表者は瀬谷ですが、研究倫理審査申請時の研究計画書上の代表者は高橋奈津子教授です

高橋 恵理菜

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本産業看護学会, 交流促進委員, 2024. 5～

6. 社会貢献

- 1) 神奈川県人材育成体制検討ワーキング（県健康増進課との協働）, 2024. 4～2025. 3
- 2) 小田原保健福祉事務所足柄上センター研修会「保健師の人材育成・確保・定着のために必要な体制づくり」 運営補助, 2024. 7. 10
- 3) オープンキャンパス 保健師ブース・養護教諭ブース企画運営, 2024. 8. 3、8. 4
- 4) 神奈川県 保健師のお仕事説明会 運営サポート(幹事校), 2024. 8. 26
- 5) うみかぜ祭 「まちの保健室」 運営, 2024. 11. 3
- 6) 小田原保健福祉事務所足柄上センター管内市町村向け報告会「厚労科研：足柄上センター管内における自治体保健師の実態調査・ヒアリング報告」 情報提供者 補助, 2025. 1. 28
- 7) 神奈川県保健師就職説明会 運営サポート（幹事校）, 2025. 3. 14
- 8) ミニオープンキャンパス演習体験担当, 2025. 3. 25

9. 学内教育活動

1) 学部

- 統合実習 地域看護学領域実習指導, 2024. 4～6
- 卒業研究 研究指導, 2024. 4～2025. 3
- 産業保健論Ⅰ 第8回「健康経営」講義担当, 2024. 6
- 産業保健論Ⅱ 第2回「メンタルヘルスケアと産業看護職の役割」講義担当, 2024. 7
- 公衆衛生看護活動演習Ⅰ 演習担当, 2024. 4～5
- 公衆衛生看護活動演習Ⅱ 第15-16回「成人保健におけるメンタルヘルス」講義担当、その他演習担当, 2024. 4～5
- 地域看護学Ⅱ 演習担当, 2024. 4～
- 公衆衛生看護学実習 実習指導, 2024. 7
- 地域看護学実習 実習指導, 2024. 8～9
- 公衆衛生看護活動論 第5-6回「成人保健活動」講義担当, 2024. 10
- 在宅看護学実習 3クール目 実習指導, 2025. 2
- ヒューマンサービス総合演習 ワーキンググループ、演習補助, 2024. 11～2025. 1

10. 学内各種委員会活動

- 1) 設備備品委員会, 2023. 4～

- 2) オープンキャンパス委員会, 2023. 4～2025. 3
- 3) 学科学生委員会, 2024. 3～
- 4) 卒業式 医務室担当, 2024. 3. 15

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 神奈川県公衆衛生協会調査研究助成金, 代表者, 高橋恵理菜, 災害による長期的な通常業務遂行困難時の新人保健師教育プログラムの開発～COVID-19対応を乗り越えた新任期保健師に焦点を当てて～, 100千円, 2024年04月, 2025年03月

15. その他

- 1) 厚生労働科学研究「自治体保健師の計画的・継続的な確保に関する研究 - 県内市町村における保健師の確保策の開発 -」 (23LA1002) 研究分担者 (研究代表者: 村嶋幸代)

高山 千春

1. 著書

- 1) 共著, 鈴木久美、林直子、佐藤まゆみ編集, 2025年01月, 日本語, 看護学テキストNICE がん看護 様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える, 第2章 がんおよびがん医療の理解 : B. 4 がん教育, 南江堂, 21-24

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 角田明美, 慶原凌大, 佐藤友哉, 高山千春, 片山和久, AYA世代だからこそつながりたい！－AYA世代のがんサロンG-AYAカフェをサポートする立場より－, 第41回群馬緩和医療研究会, 2024年06月
- 2) ポスター, 筆頭者・責任者, 高山千春, がん治療に伴う薬剤関連顎骨壊死のQOLに関する文献検討, 第39回日本がん看護学会学術集会, 2025年02月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 聖路加看護学会, 編集委員, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

6. 社会貢献

- 1) 一般社団法人がん哲学外来G-AYAサポーター, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) オープンキャンパス, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

9. 学内教育活動

- 1) 学部
ステップⅡ実習の視聴覚教材作成, 2024. 9

10. 学内各種委員会活動

- 1) 設備・備品担当委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) 学科学生委員会 (4年生クラス担任) , 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 進路支援委員, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 4) 国試対策委員, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

森 朱輝

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, 森 朱輝, AR (Augmented Reality: 各超現実) を用いた手指衛生と個人防護具の着脱トレーニングプログラムの効果と課題, 日本感染看護学会第24回学術集会, 2024年08月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) ヒューマンサービス学会, 庶務, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス キャンパスツアーおよび受験体験記・学生生活紹介担当, 通年
- 2) 日本看護科学学会 次世代看護学研究者発掘育成プログラムにおける研究者紹介用の動画作成協力, 2024. 8
- 3) 医療法人社団亮正会 高津看護専門学校 成人看護学 感染看護学の講義の実施, 2024. 11

9. 学内教育活動

1) 学部

看護技術論Ⅰ 授業資料作成および授業・演習の実施, 授業運営の補助および実技試験, 筆記試験の試験官業務, 後期

看護技術論Ⅱ 授業資料作成および授業・演習の実施, 授業運営の補助および実技試験, 筆記試験の試験官業務, 前期

看護技術論Ⅲ 授業運営の補助, 後期

ヘルスアセスメント論 授業運営の補助および実技試験, 筆記試験の試験官業務, 後期

基礎看護学実習Ⅰ 実習の引率および学生への知識, 技術, 看護過程の展開指導, 2024. 12

基礎看護学実習Ⅱ 実習の引率および学生への知識, 技術, 看護過程の展開指導, 2024. 9

基礎看護学実習Ⅲ 実習の引率および学生への知識, 技術, 看護過程の展開指導, 2025. 2

統合実習 学生への指導および実習の引率, 2024. 4～7

卒業研究 学生への研究計画書および発表資料作成の指導, 通年

保健医療福祉論Ⅰ 学科内調整役としての施設および学科教員との調整の実施, 前期

学生の就職活動サポート 依頼のあった学生に対して面談を行ったり、履歴書の添削、面接練習の実施, 通年

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学科学生委員会 2年生クラス担任, 通年

- 2) 設備・備品委員会, 通年
- 3) オープンキャンパス委員会, 通年
- 4) 広報委員会 SNSによる学科広報担当, 通年

李 剣

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, 後藤雅子, 李剣. , 2024年04月, 日本語, 重症心身障害児に関わる訪問看護師のリソース, 査読あり, 日本重症心身障害学会誌, 49 (3) , 475－483
- 2) 原著論文, 共著者, 後藤雅子, 李剣. , 2024年12月, 日本語, 医療的ケア児にかかわる訪問看護師のリソースの要素に関する文献検討, 査読あり, 日本健康医学会雑誌, 33 (1) , 98－107

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, Jian Li, Junko Nonaka, Masako Yoneyama, Sumiko Oka ,All-Japan Survey on Volunteer Activities in Pediatric Healthcare Facilities Focusing on the Post-COVID Era – The Reality of Activities from the Perspective of Volunteers (Part 1), 16th Congress of Asia continental branch of International Society of Paediatric Oncology (SIOP Asia 2024) .Yokohama,, 2024年06月
- 2) ポスター, 共同研究者, Jian Li, Junko Nonaka, Masako Yoneyama, Sumiko Oka ,All-Japan Survey on Volunteer Activities in Pediatric Healthcare Facilities Focusing on the Post-COVID Era – The Reality of Activities from the Perspective of Volunteers (Part 2), 16th Congress of Asia continental branch of International Society of Paediatric Oncology (SIOP Asia 2024) .Yokohama,, 2024年06月
- 3) ポスター, 共同研究者, 米山雅子, 野中淳子, 岡澄子, 李剣, ポストコロナを見据えた小児医療施設におけるボランティア活動に関する全国調査—看護師からみた病棟での活動の実態と今後の展望 (第1報) , 日本小児看護学会第34回学術会. 大阪. , 2024年07月
- 4) ポスター, 共同研究者, 米山雅子, 野中淳子, 岡澄子, 李剣, ポストコロナを見据えた小児医療施設におけるボランティア活動に関する全国調査—看護師からみた病棟での活動の実態と今後の展望 (第2報) , 日本小児看護学会第34回学術会. 大阪. , 2024年07月
- 5) ポスター, 共同研究者, 岡澄子, 野中淳子, 米山雅子, 李剣, ポストコロナを見据えた小児医療施設におけるボランティア活動に関する調査-ボランティア・コーディネーターからみたボランティア活動の実態と課題, 日本小児看護学会第34回学術会. 大阪. , 2024年07月
- 6) ポスター, 筆頭者・責任者, Jian Li, Masako Goto, The Impact on Hospitalized Children and Their Families During the COVID-19 Pandemic: From the Perspective of Nurses, The 5th Int’l Conference on Nursing and Healthcare(ICNH 2024) . Xi’an, China. , 2024年07月
- 7) ポスター, 共同研究者, 後藤雅子, 李剣, 訪問看護師と重症心身障害児者の社会的相互作用のプロセスについての文献レビュー, 日本重症心身障害学会, 第49回学術集会. 神戸. , 2024年11月

10. 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科 学生委員会, 2024. 4
- 2) 看護学科 FD・SD委員会, 2024. 4
- 3) 学生チューター, 2024. 4

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 分担者, 野中淳子, 岡澄子, 米山雅子, 李剣, ポストコロナを見据えた小児医療におけるボランティア活動支援体制プログラムの構築, 3, 380千円, 2022年04月
- 2) 若手研究, 代表者, 李剣, コロナ禍における入院患児への適切なケア内容の可視化及びその看護モデルの構築, 3, 250千円, 2021年04月